



圧倒的ロリ巨乳の

幼馴染が

チマヲ男に

NTR

イケね娘食堂

されました。





コホン

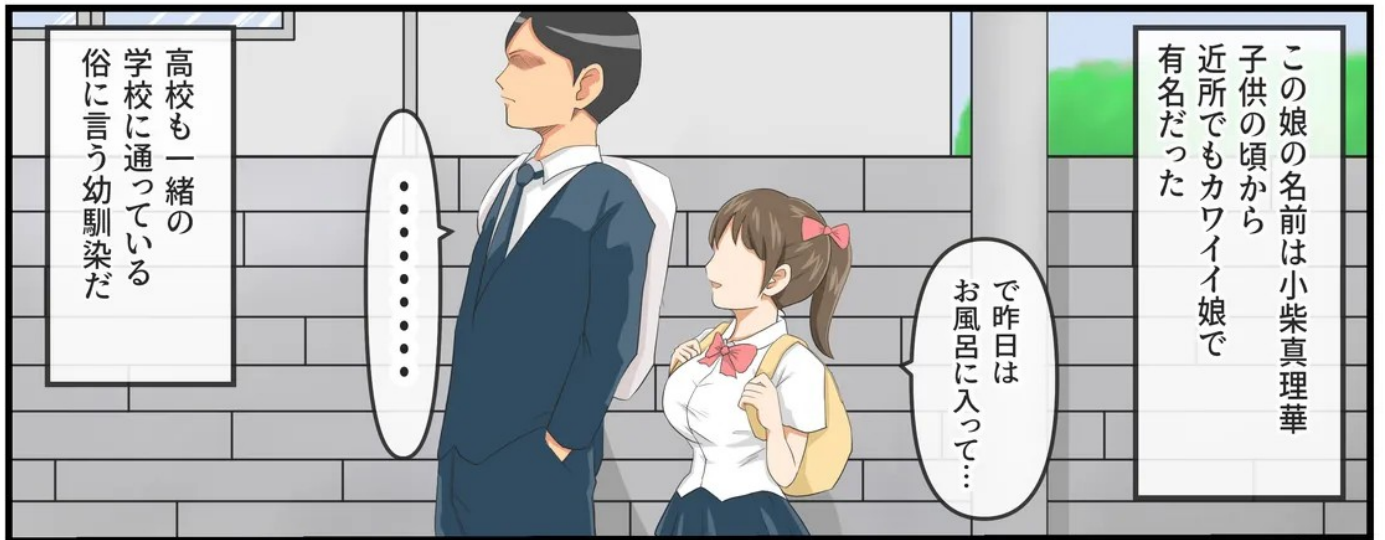


だって後ろで  
見つけたんだもん!

ブルン♡



おう!おはよう!  
そんなに走らなくても  
いいじゃねえかよ!



高校も一緒に  
学校に通っている  
俗に言う幼馴染だ

.....

で昨日は  
お風呂に入って...

この娘の名前は小柴真理華  
子供の頃から  
近所でもカワイイ娘で  
有名だった



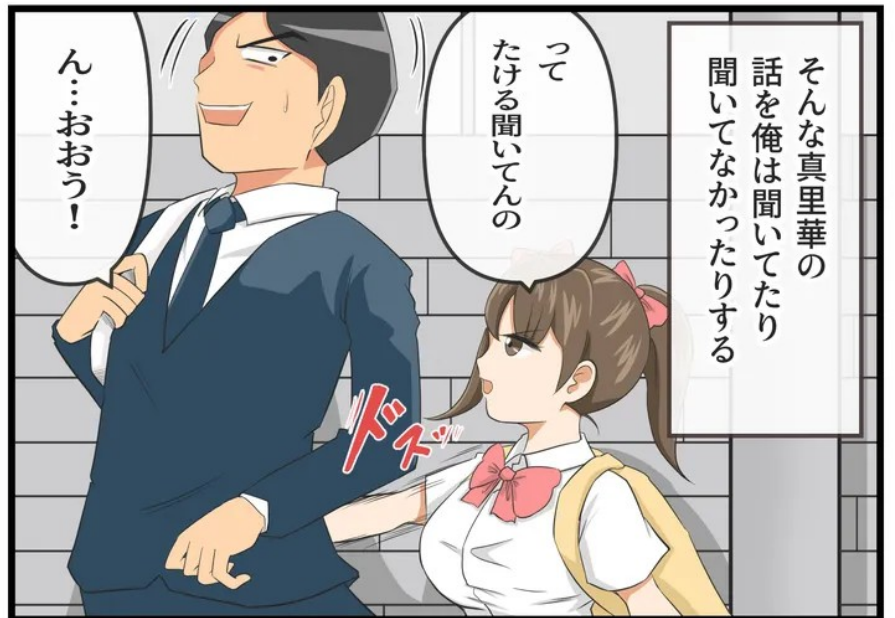
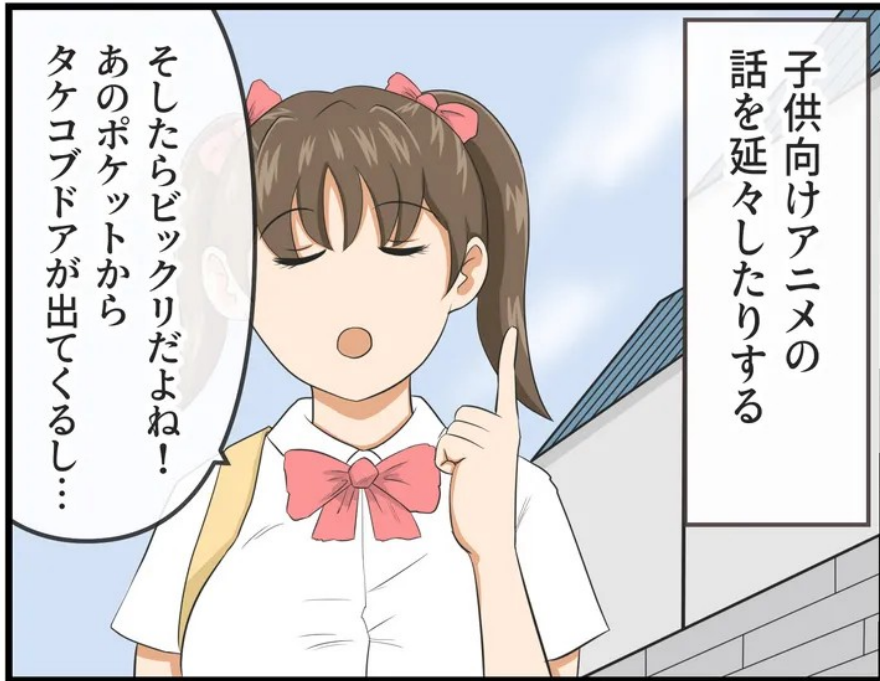
胸の発育  
だけは...

たゆん♡



その後は  
お菓子食べてえアニメ見てえ

背は小さくて  
顔も幼いので  
たまに中学生に間違われる...だが







子供に見えるくせに  
時折見せる母性に  
溢れたその笑顔…

ドキ



将来は保母さんにな  
りたいらしく  
今けっこうマジで  
勉強しているらしい



口に出して  
言えないが…



あっ！  
もう待ってよー！



俺はそんな真里華が大好きで…  
ずっとこんな関係が続くと  
思っていた…そう…ずっと…



そんなギャップに  
やられてしまう俺だった

おい早く行くぜ！  
遅刻するぞ！

みんなが処女を  
捨てだすから焦っている

男に免疫がない

信用出来る  
友達が幼馴染以外  
いない

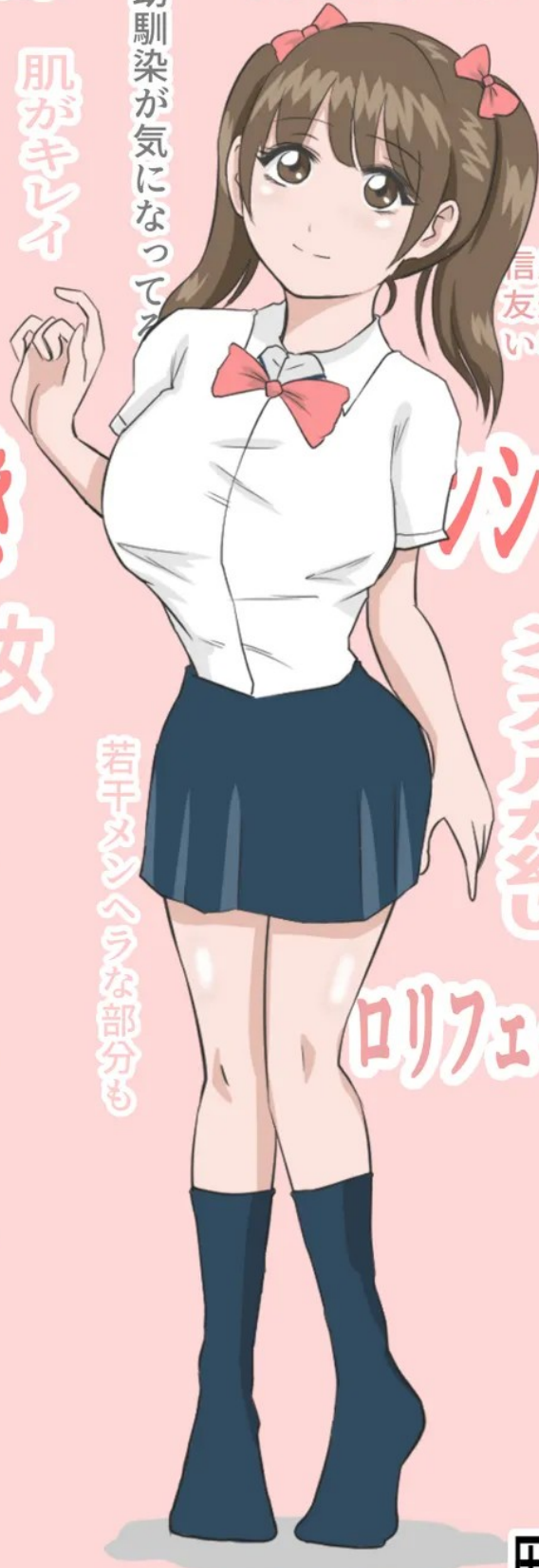
やわらかおっぱい

幼馴染が気になってる

肌がキレイ

コミュ障気味

子供の頃から  
ずっとツインテール



パンジーグッズ大好き

子供大好き

真正処女

エッチの  
知識が皆無

メンタルが幼い

ロリフェイス

若干メンヘラな部分も

アカップおっぱい♡

エッチな話はすごく苦手  
でも子供が大好きだから  
いずれ自分もしなきゃいけないと  
思っている

圧倒的ロリ巨乳の幼馴染が  
チャラ男にNTRされました。

中学時代  
学習塾

はいじゃあ  
今から30分  
自習な！

先生  
暑いんですけど！！

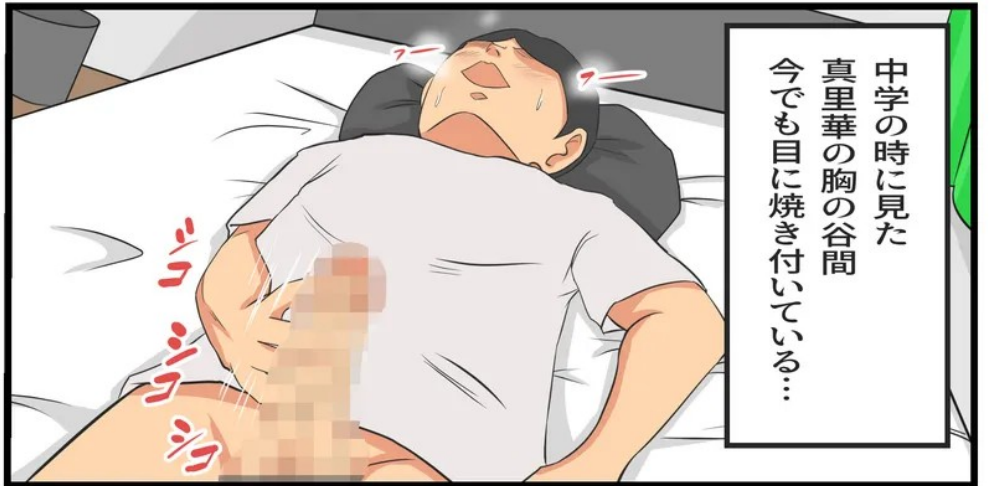
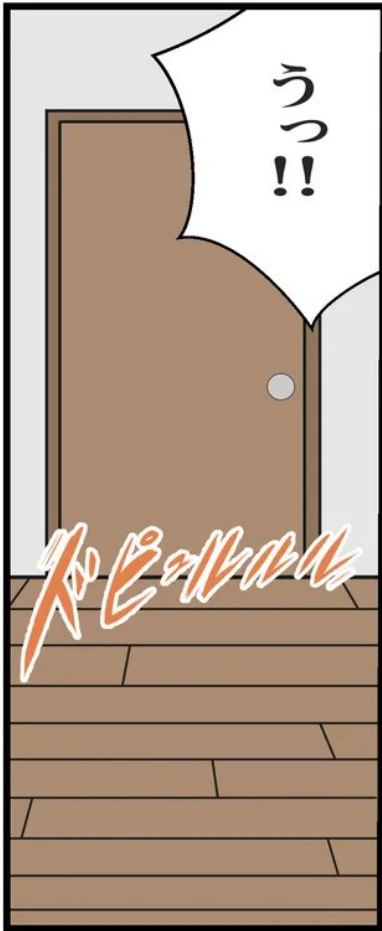
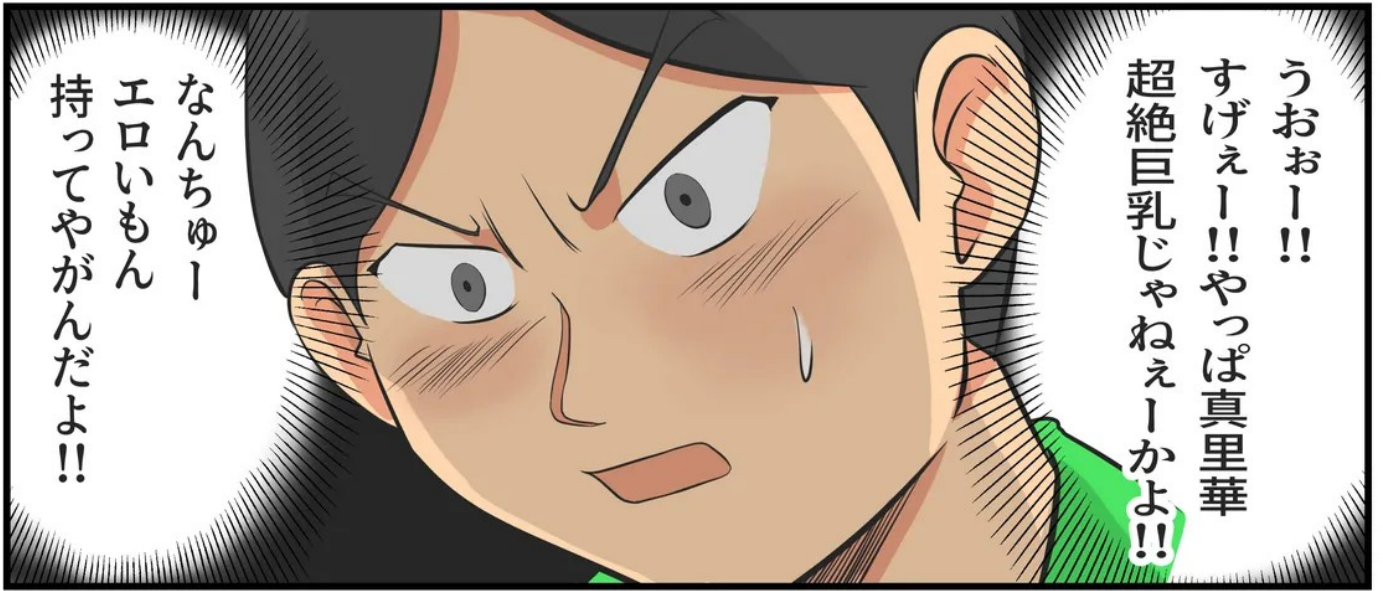
しよーがねえーだろ  
エアコン壊れてるんだから  
我慢しろ！

ちえっ！

ちら...

ミーンミーンミーン

カクカク





ん？ああ  
らしいな



そういえば真里華ちゃん最近  
近所のカフェでアルバイト  
してるらしいわね



食べたらちゃんと  
洗い物つけといてね

あー  
分かってるよ



昨日夜中に  
男と一緒に帰ってきてたけど  
あれアンタじゃないよねえ？



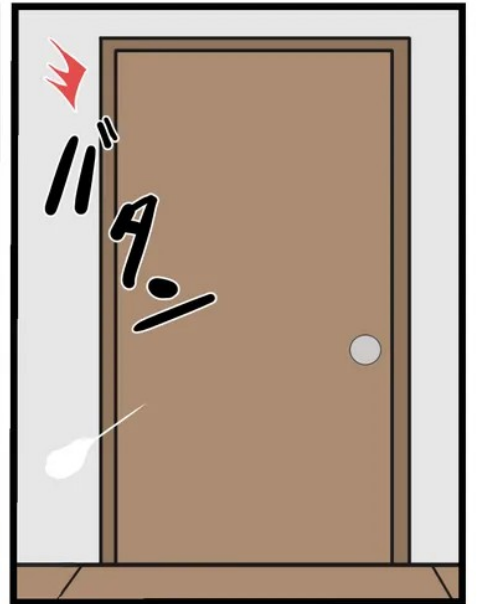
はあー？  
何だそりゃ

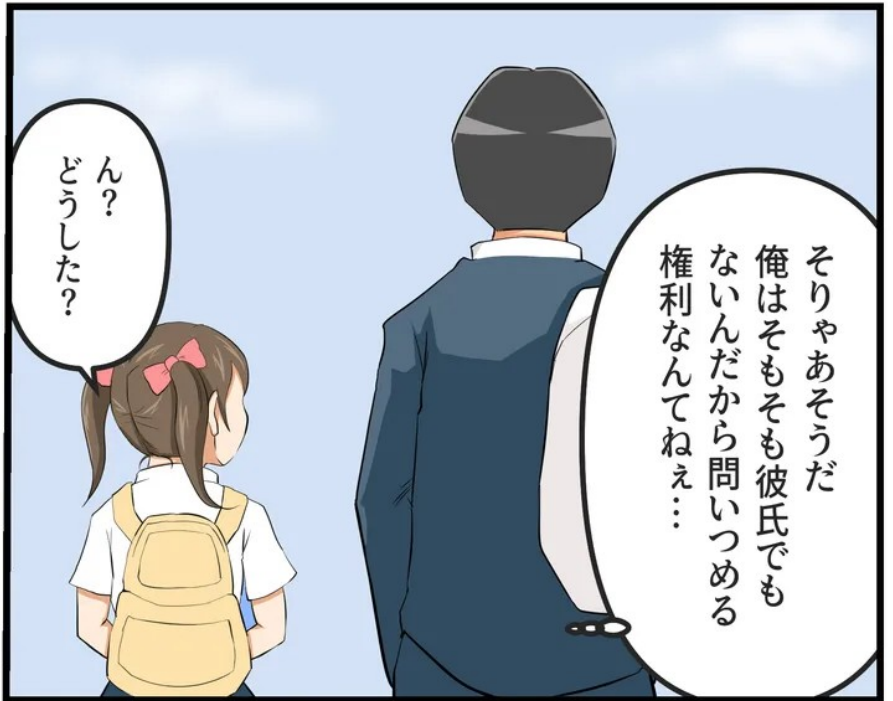


あらそうね！  
まああの子も  
お年頃だからねえ

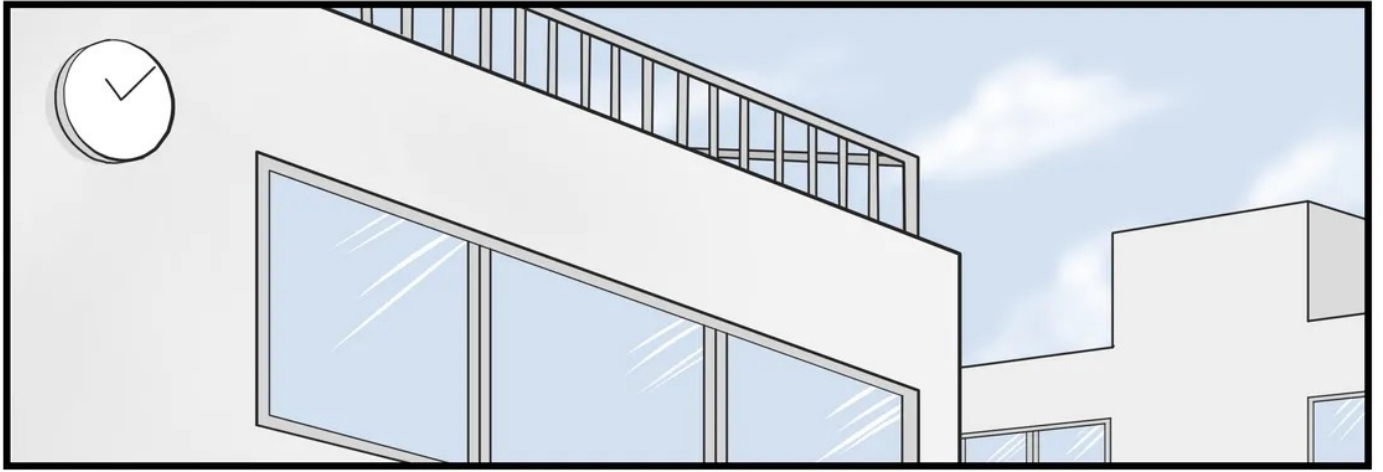


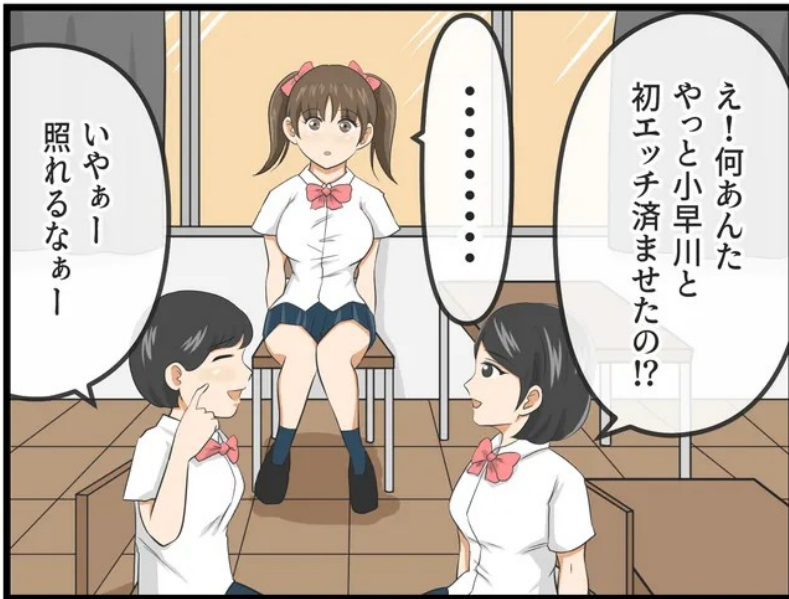
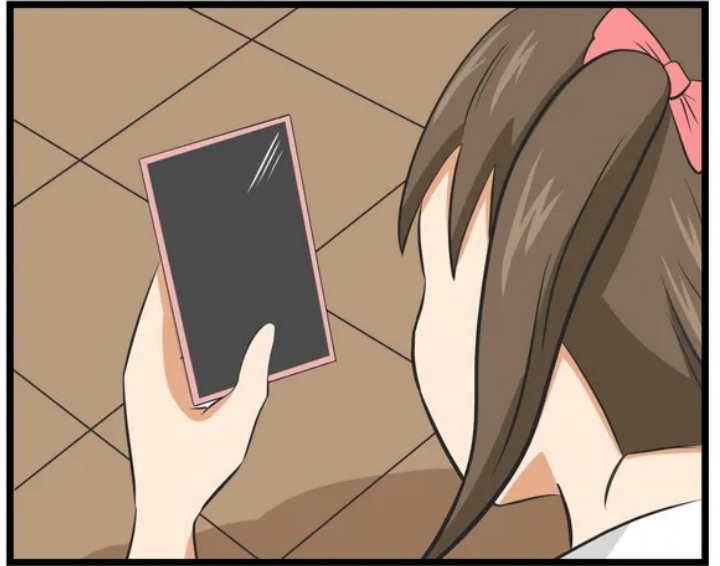
いや違うよ  
だって俺部活  
だったじゃん…

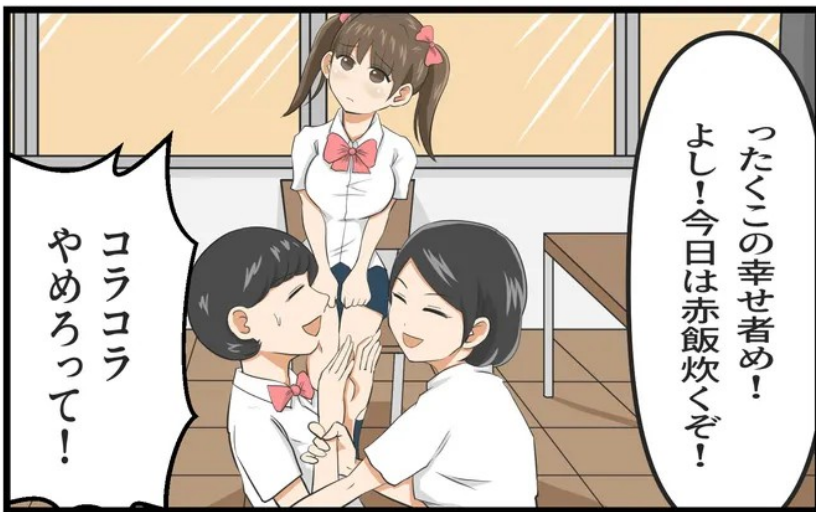








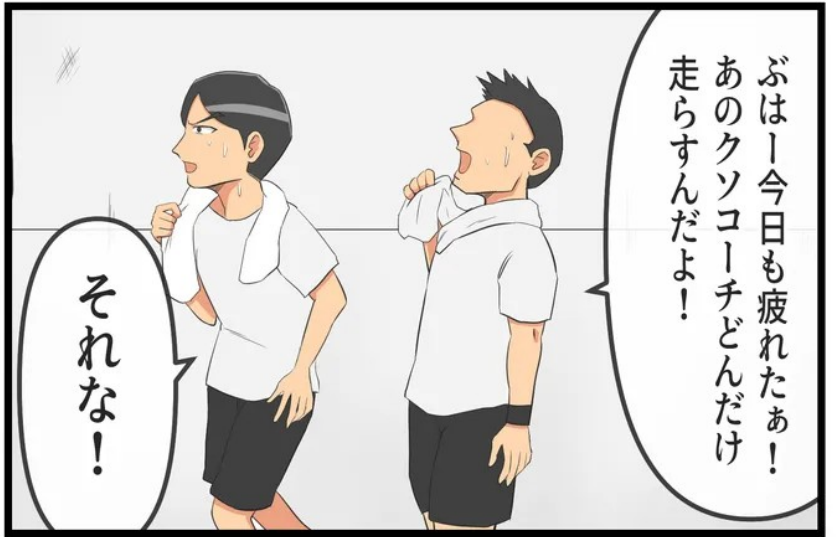








ふー…



ぶはー今日も疲れたあ！  
あのクソコーチとんだだけ  
走らすんだよ！

それな！



あん♥

グリン♥

グリン♥

グリン♥

やっ♥



だよお  
あの女とのハメ撮りに  
持ち込んだってわけよ

となりの  
部屋か？

ん…？

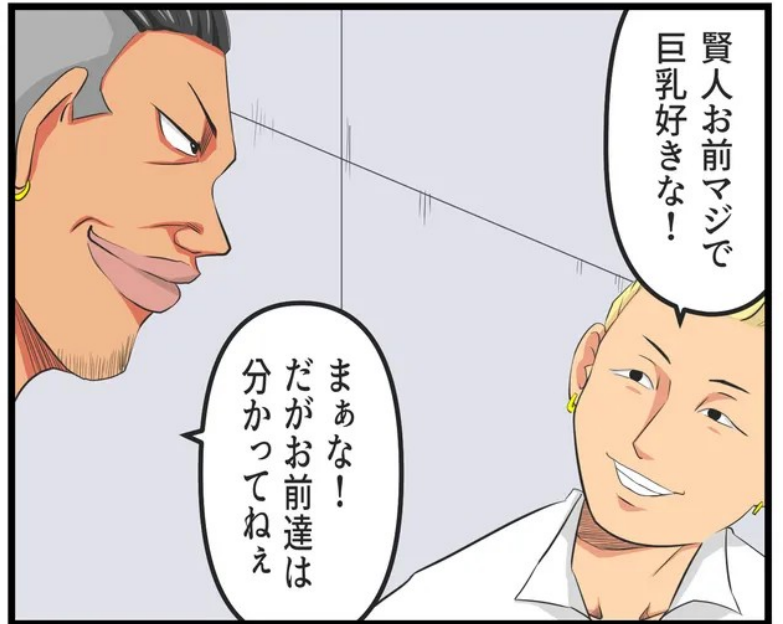


細っそい身体に  
この乳は反則だろ！！

うっひょー  
すっげえー良い身体！！

んっ♥  
んあっ♥

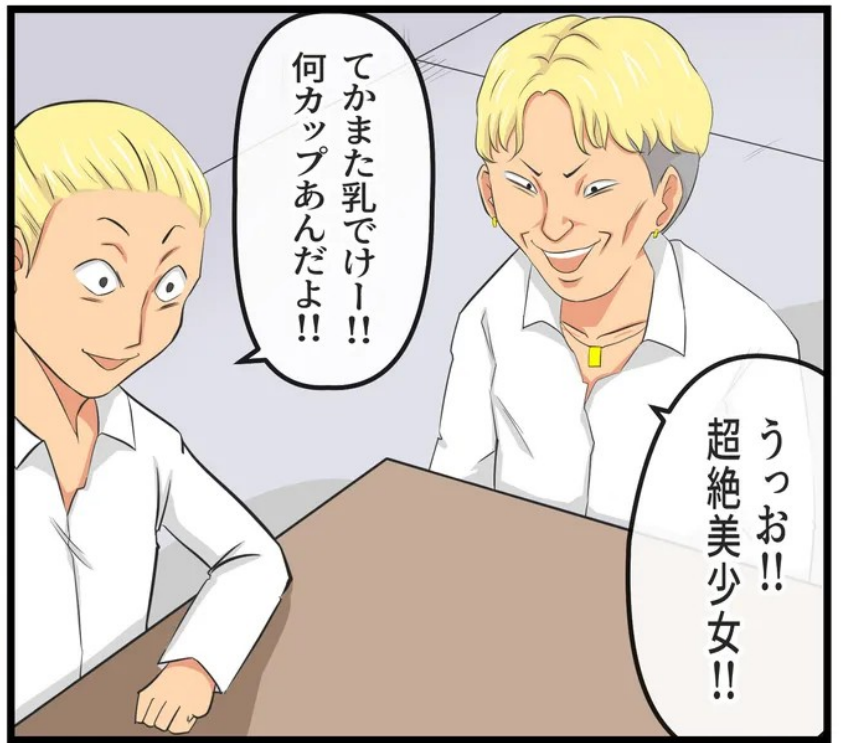
SEX.1.





おいおいお前等  
あんま勘ぐるなって  
俺が脱がしたあかつきには…

ちゃーんとブラサイズも  
教えてやるから♥



てかまた乳でけー!!  
何カップあんだよ!!

うっお!!  
超絶美少女!!



えっ!?  
真里華—



あっ!てか俺こいつ知ってる  
俺等の1コ下の小柴真里華だわ!





とにかく優しくする  
そうして徐々に心を  
開かせるんだ

そして仲良くなった後は  
ひたすら相手の話を  
聞いてやったり



その後はトークで  
段々距離をつめてって  
仲良くなるんだ：



そして俺はその  
一瞬の隙を絶対に逃さねえ！！



そうしてる内に、ある日一瞬でも  
この人いいかも…とか  
この人となら付き合ってもいいかな…  
となるわけよ

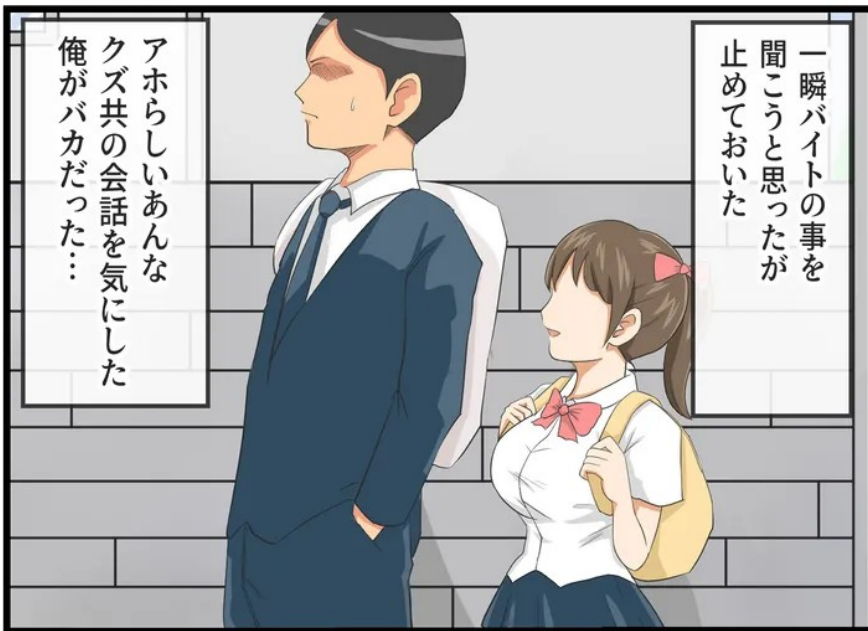
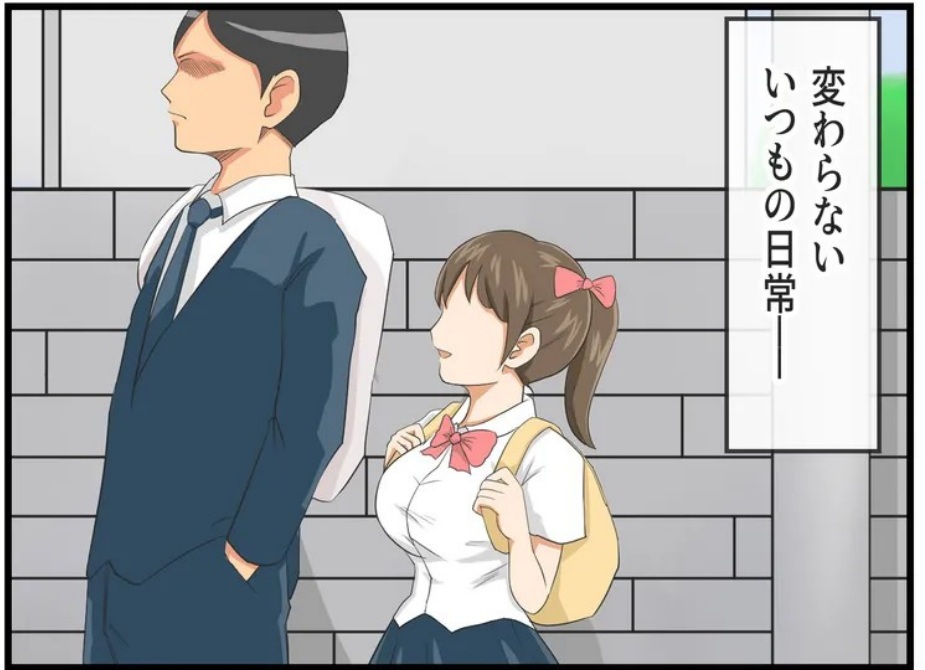


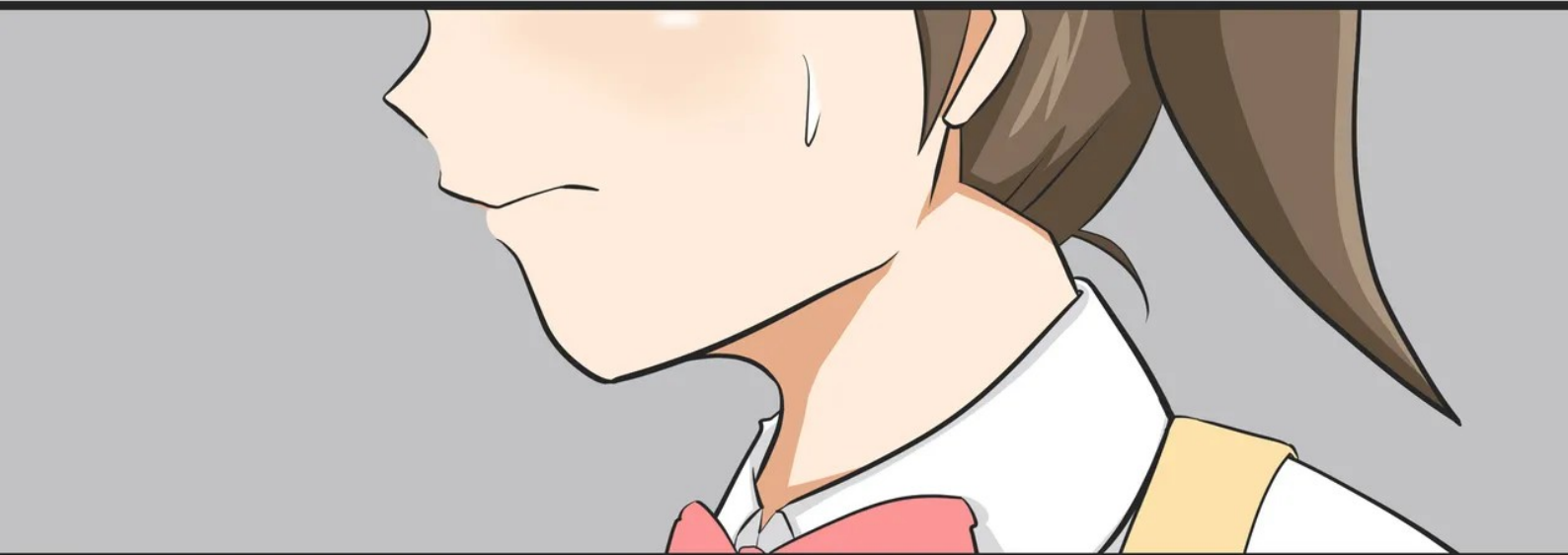
まあ見とけよ！  
あと一か月もすれば  
形勢はひっくり返ってるからよ！



たいした自信だな！  
でも賢人が言うのと  
説得力があるぜ！







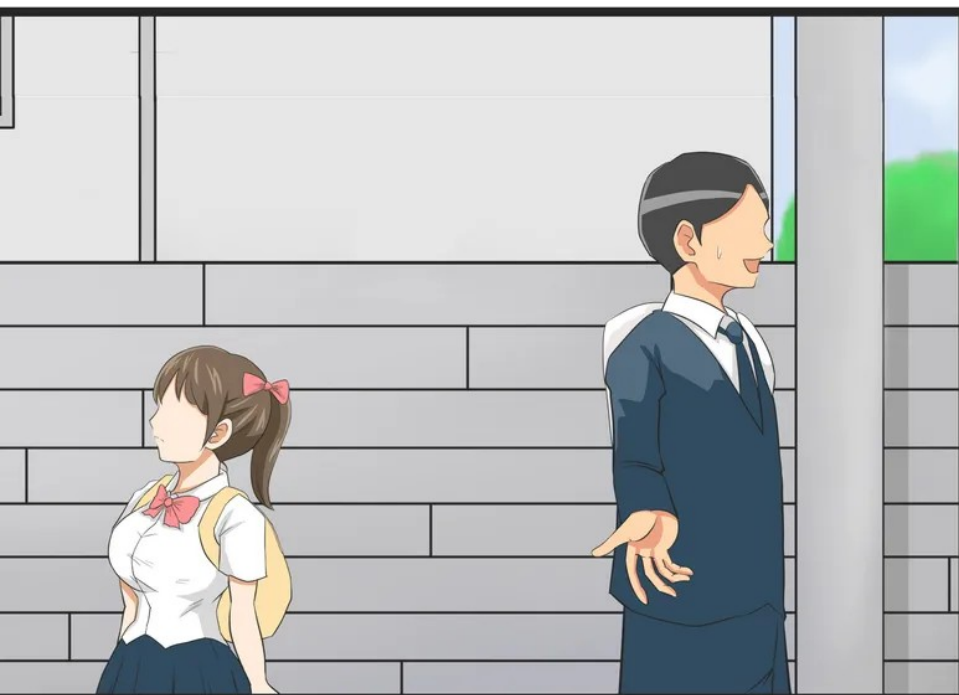


ちよつと…真面目に…  
答えて…ほしいかなあ…?

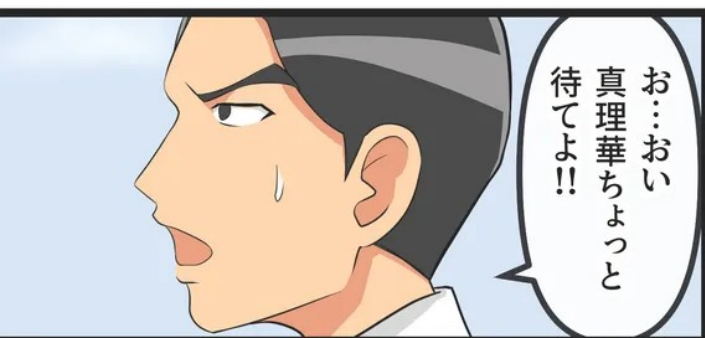


はっ!?!どうって…  
何だよ急に…!?!

たける…



どうってお前!!  
俺にとって真理華は  
すげーお子ちゃまで  
妹みたいって感じかなあ!?!



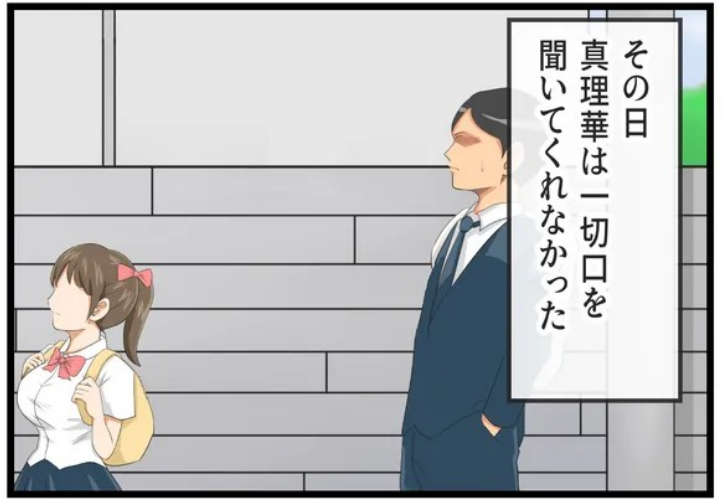
お…おい  
真理華ちよつと  
待てよ!!

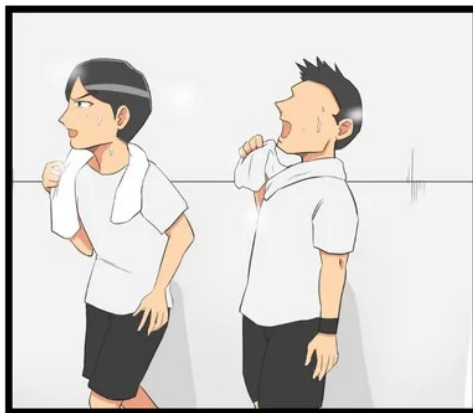


もういい  
早く行こ…



って…え!?!

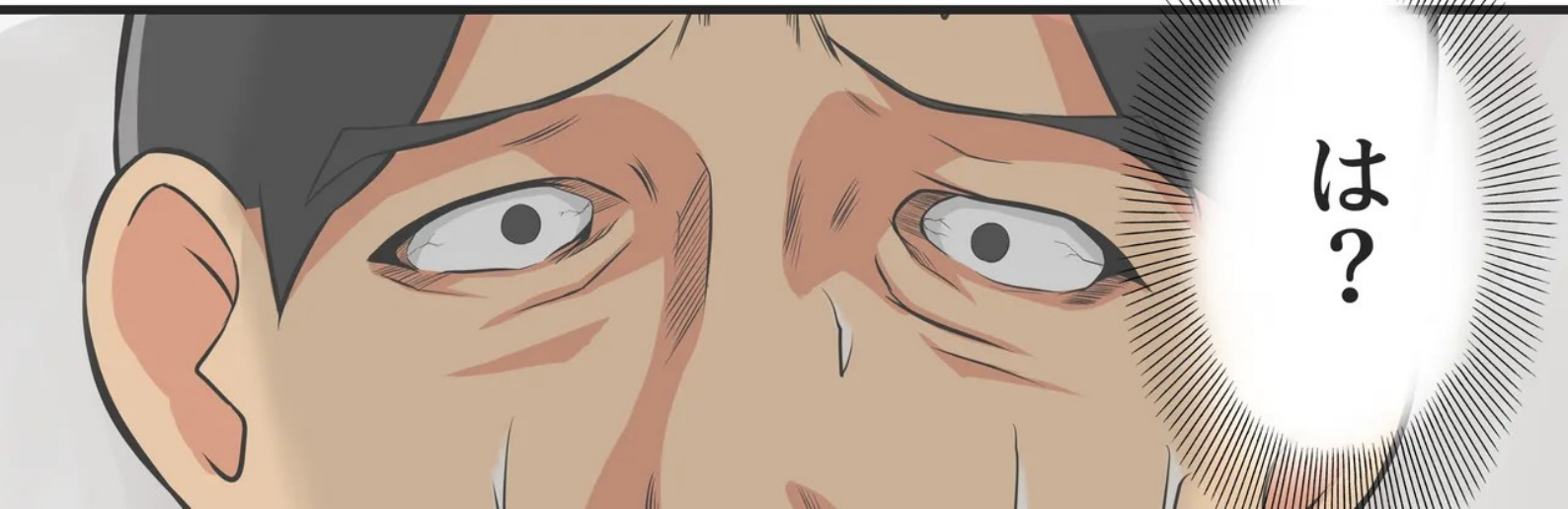




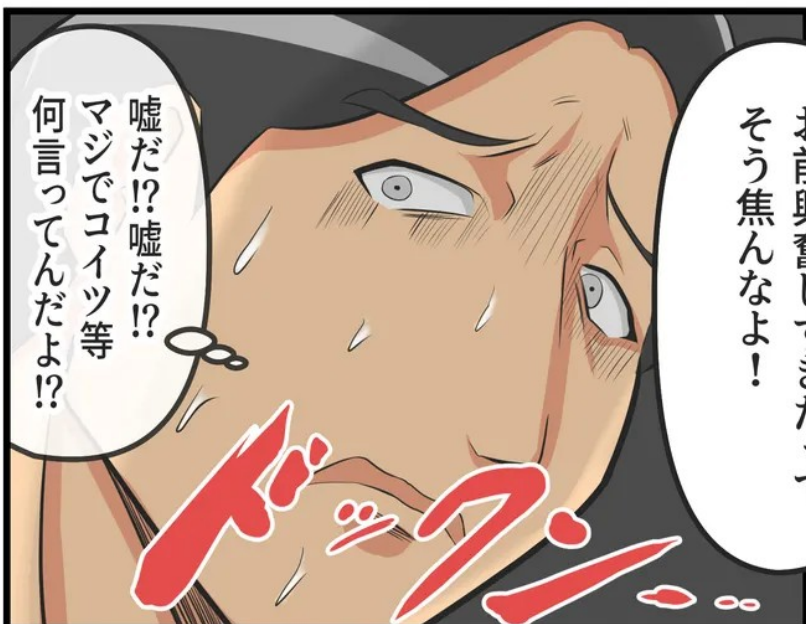
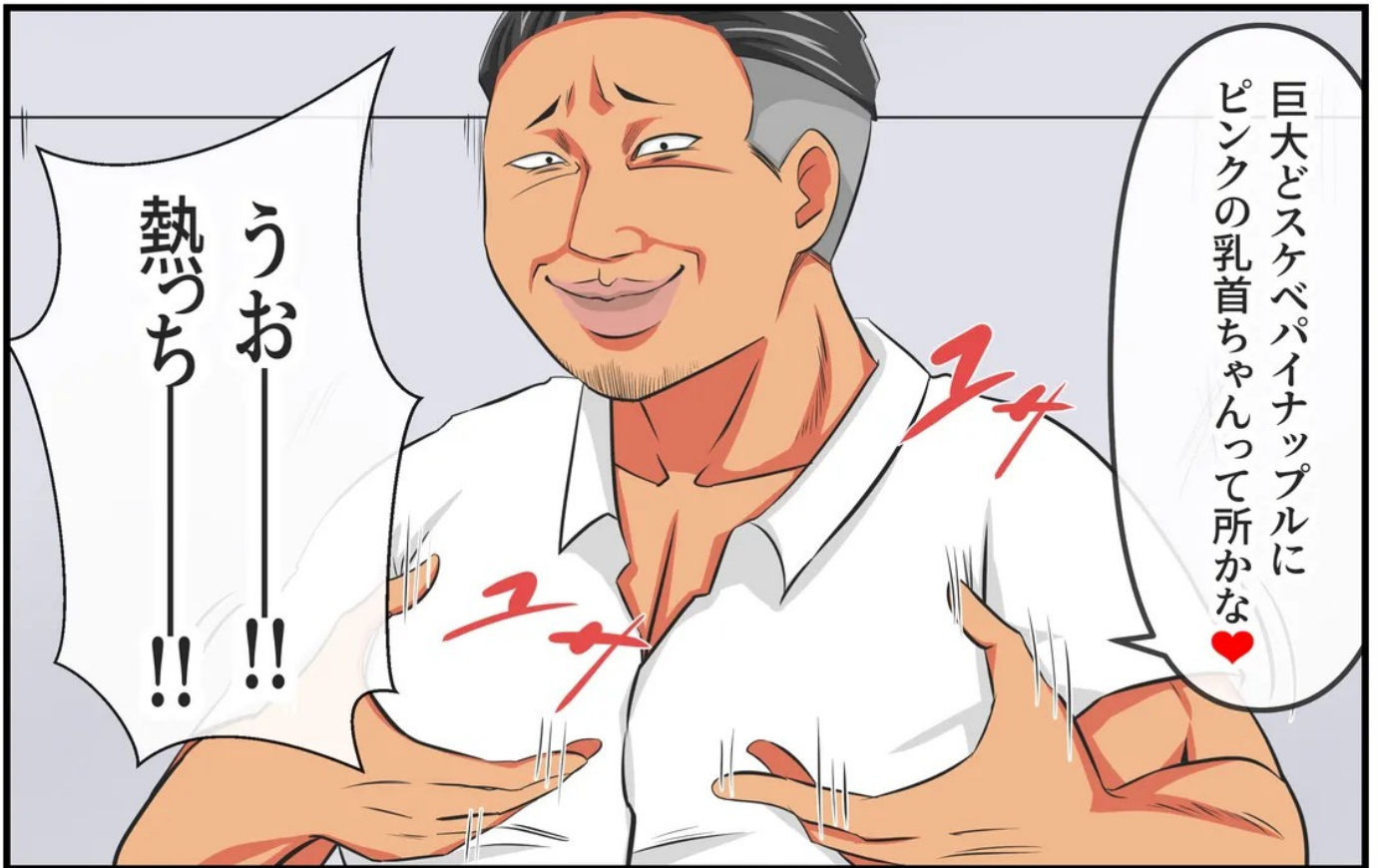


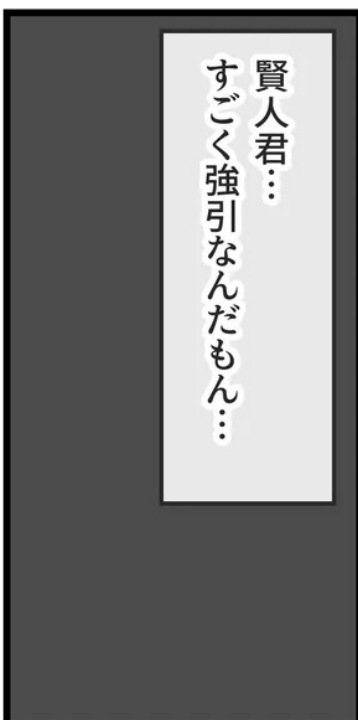
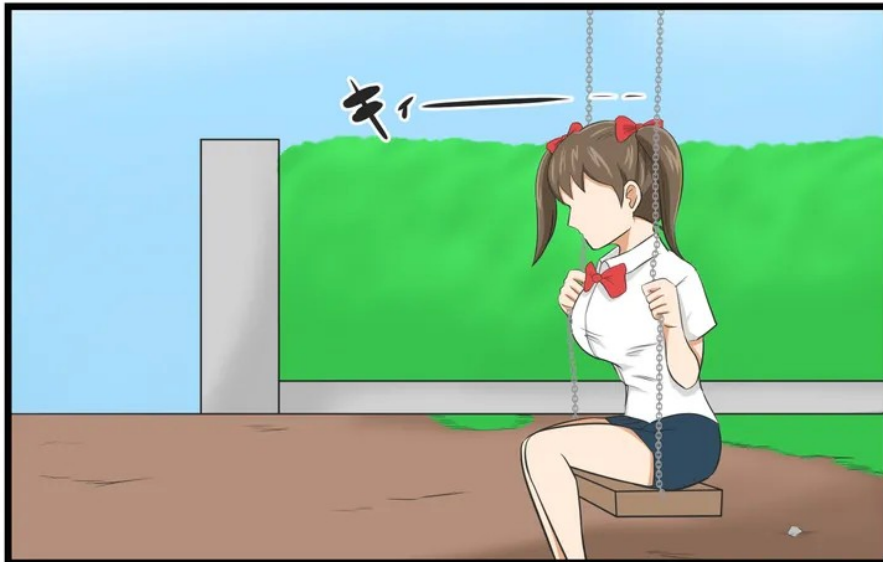
マジでお前  
小柴真理華と  
やったの!?

ぎゃはははは!  
マジか賢人



は?





2か月前

あ…あの  
初めまして小柴真理華っていいます…  
初めてのアルバイトで緊張してますけど  
よろしくお願ひします

あーそんなに  
緊張しないでいいって！  
リラックスリラックス〜！

初めは  
すごくチャライ人だなんて  
思ってたけど苦手だった…

でも一緒に働いてみて  
すごく気さくで面白くて…

店長が  
これだからよ！

大丈夫？

すごく  
優しかった…

あつ…うん  
ありがとう

キャハハハハ！

アタシは  
次第にこの人に慣れ…

あつ！  
ねえ賢人君！

なんで  
ござるか!?

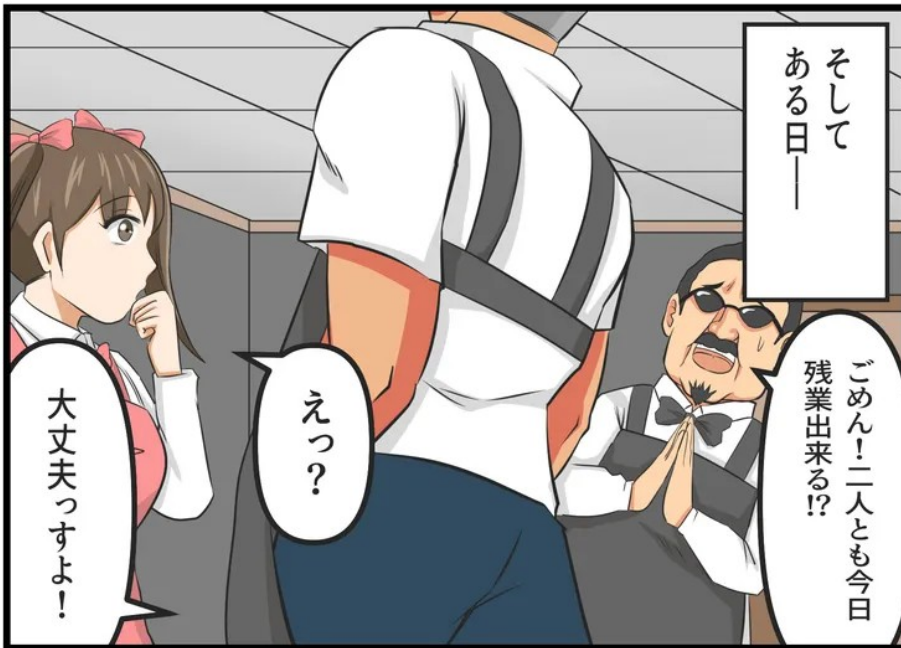


その内に  
友達みたいになって…  
ライン交換して…



心を開く様になっ  
ていったー

何げござるって!?



そして  
ある日ー

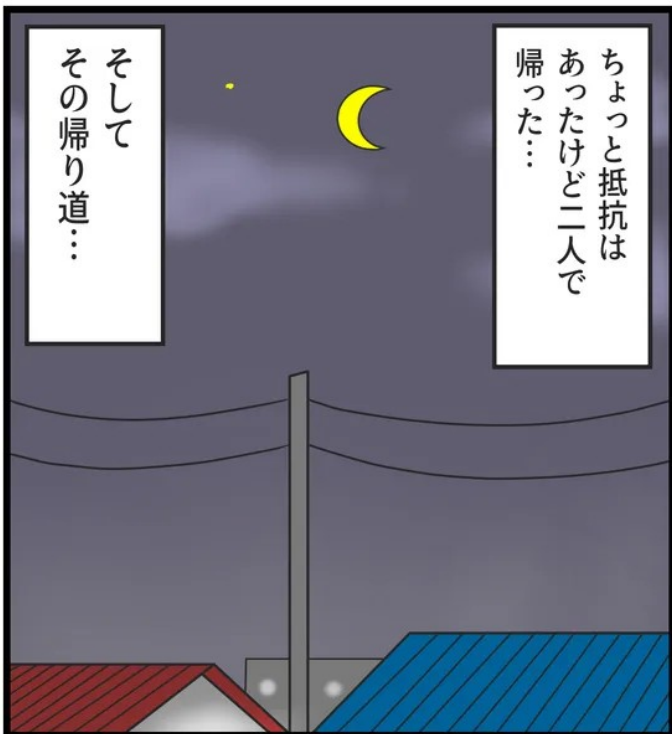
ごめん!二人とも今日  
残業出来る!?

えっ?

大丈夫っすよ!



色んな話を  
する様になった



ちょっと抵抗は  
あったけど二人で  
帰った…

そして  
その帰り道…



残業して  
遅くなったその日ー

バツカヤロー夜に  
女の子が一人で歩いたら  
危ねえーだろー!!

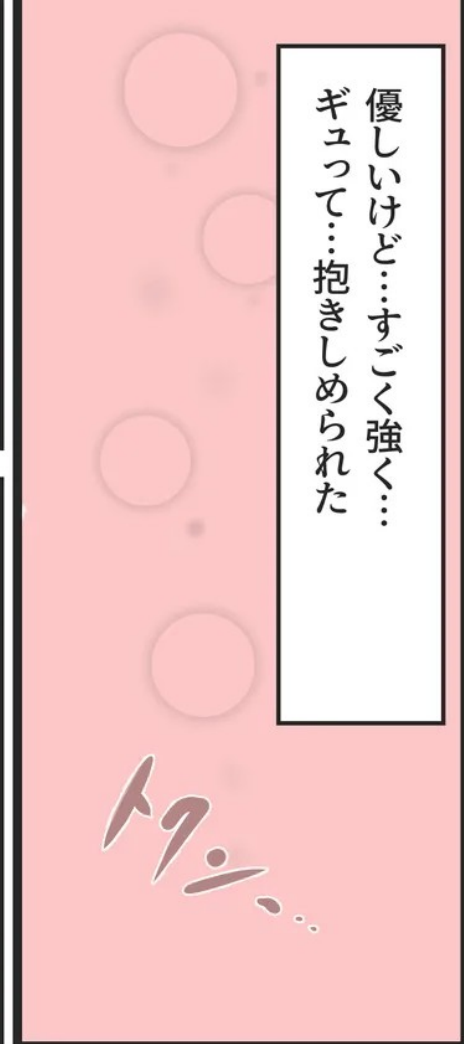
あっ…  
うっうん…







これが男の人の  
胸の中なんだあ…



優しいけど…すごく強く…  
ギュって…抱きしめられた



その日はただ  
抱きしめられたただけだった



そして  
その日を境に賢人君が  
アタシにとって大きな  
存在に変わっていった



子供の頃は  
あんなにカッコよかった  
のになあ



幼馴染で  
ずっと好きだった  
たけるといえば…

ちんちんって  
10回言ってみてくれ!



アタシも  
早く彼氏を作らなきゃ  
いけないのかなあ…

周りの女の子は  
みんな彼氏とラブラブ  
してる…正直ついて  
いけないけど…



アタシ本当に  
どうしっちゃったんだろ

そして抱きしめられた日から  
数日後—

真理華！  
今日ちょっといい？



えっ？  
あつ…うんいいよ！



真理華！  
マジで死ぬほど好きだ！  
俺と付き合ってくれ！！



告白された



すごく嬉しいんだよ  
でも…アタシまだ自分の  
気持ちがあつきり分からなくて…



ああ分かった！俺  
真理華がふり向いて  
くれるまでいつまでも待つよ！



正確にはオツケーって  
言っていないけど…その後は  
それまで以上に仲良くなつて



距離が縮まった…  
とゆうか…くっついたり  
する事が増えていった



ちょっと照れるけど…  
正直そんなに嫌じゃない

でも…なんだか  
辛くて切ない…



たけるの笑顔が  
どうしても  
アタシの頭をよぎる…



トクン…

ラインをしたら  
すぐに返事をくれる  
賢人君に対して

たけるはいつも  
ラインの返事が遅い

あいつはアタシの事  
どう思ってるんだろう

アタシはこんなに  
たけるの事ばかり  
考えてるのに…

ねえ…りっちゃんは  
どう思う？

うーん…  
難しいねえ

幼馴染ってのは  
ちよつと特別な存在  
だろうからねえ

うん  
なんだよね…正直  
たけるの事が好きなのか  
どうかも分かんなくて…

アタシは  
断然その年上の  
彼をお勧めするけど！

何より人生経験に  
なるしね！

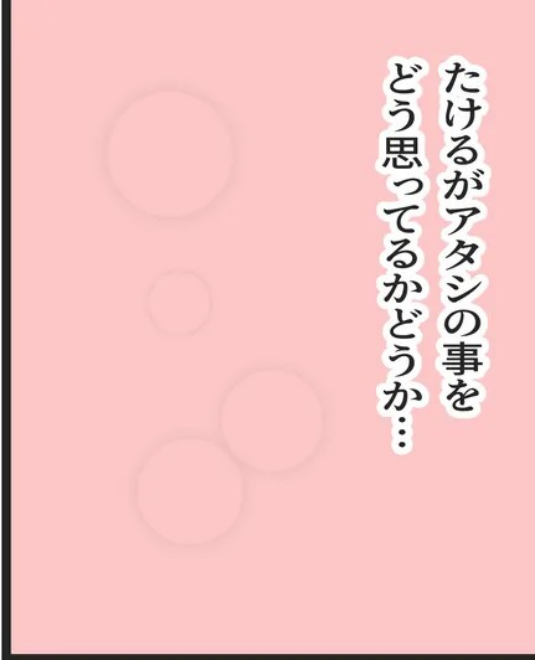
うん…

まあ言っちゃうとき  
好きって形にも色々あって  
あんたの幼馴染に対する気持ちも  
間違いなく好きの形だと思っただよ！

でもその年上の彼に  
対する気持ちもまた別の形の  
好きの形だと思っただよね…

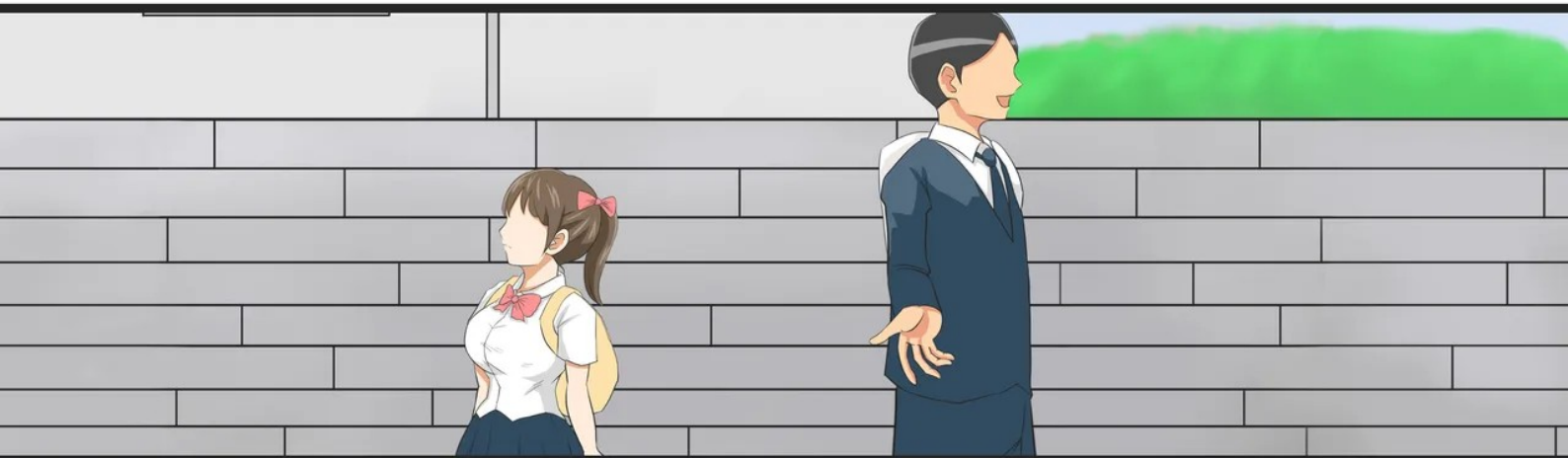
まあ色々言っただけ最終的に  
決めるのはあんただ！  
たくさん恋に悩み気高き処女よ！！

りっちゃんは  
すごく頼りになる  
でもどっちかかって言うと  
賢人君を推してくる

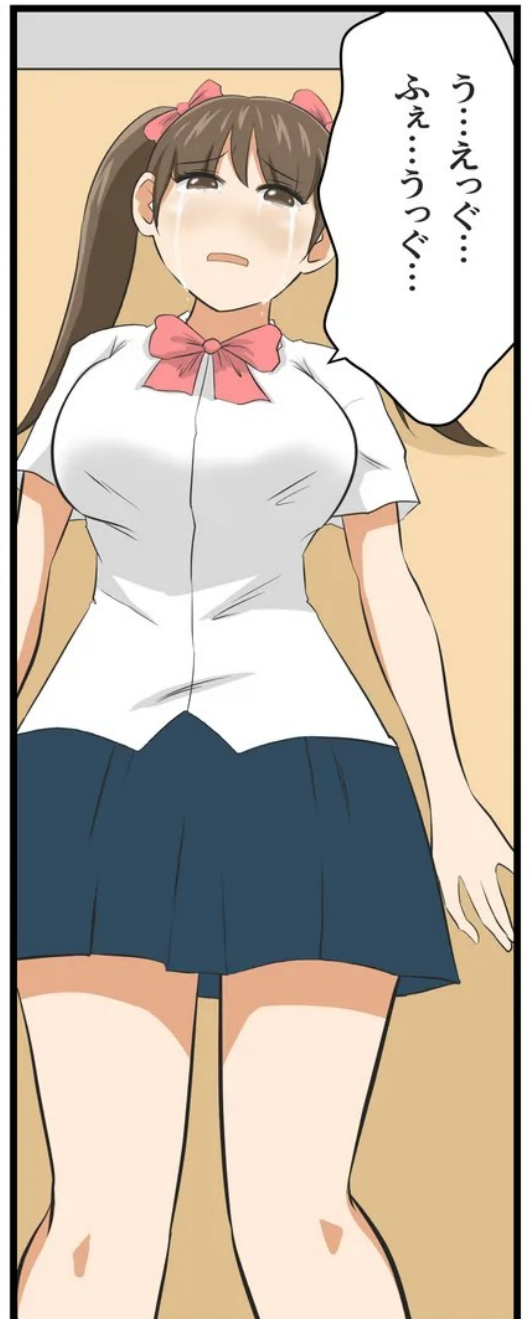


たけるがアタシの事を  
どう思ってるかどうか…

勇気を出して  
聞いてみよう

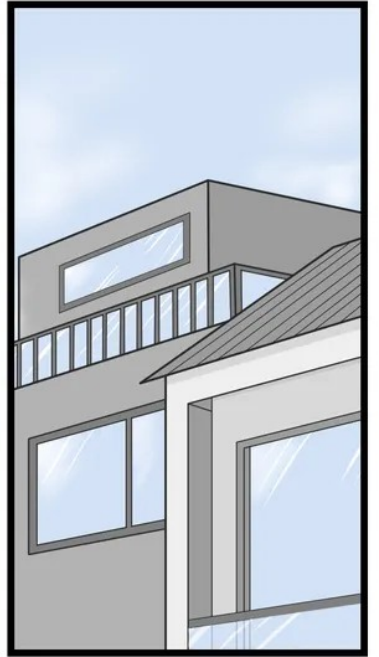


たけるは最初から…アタシに興味がなかった



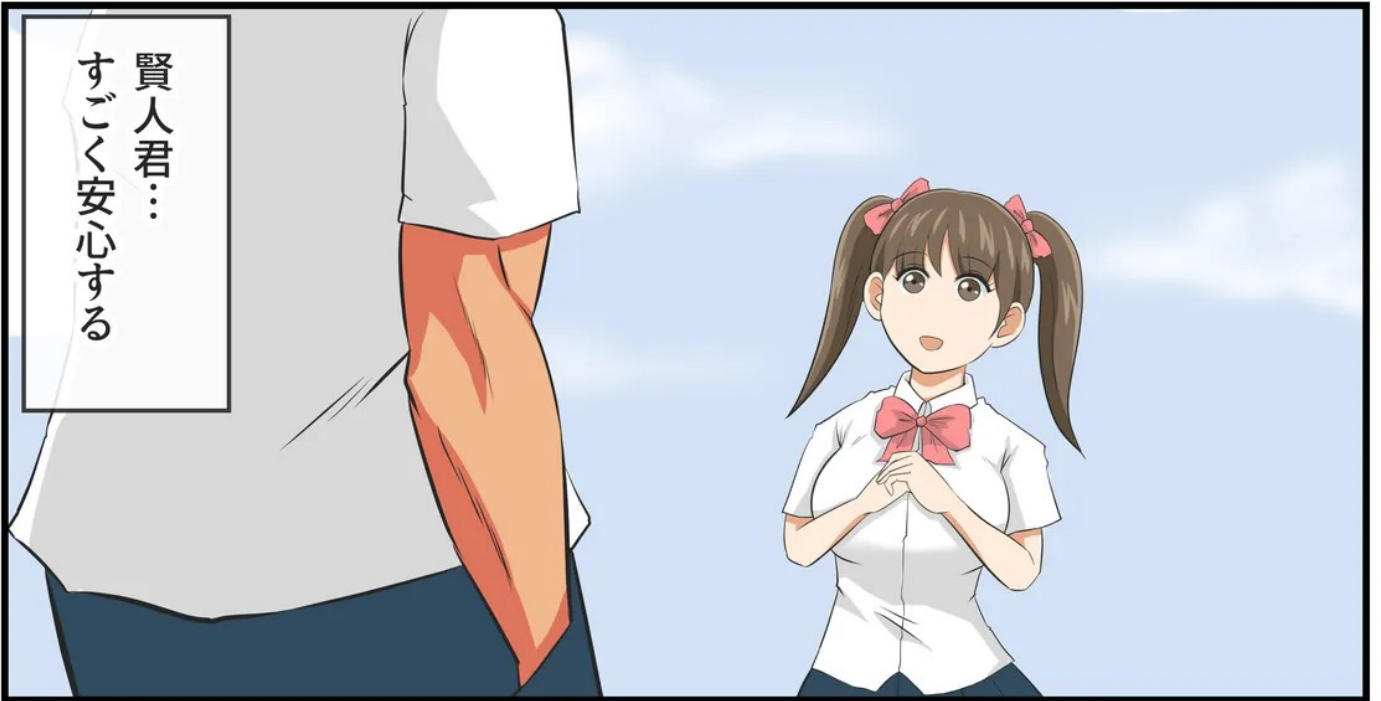
今までずっとアタシを横で  
支えてくれていたもの…  
それがなくなってしまった様な  
そんな気持ちだった





よっ!  
初めて真理華から  
誘ってくれたね!

めっちゃ  
嬉しいよ!

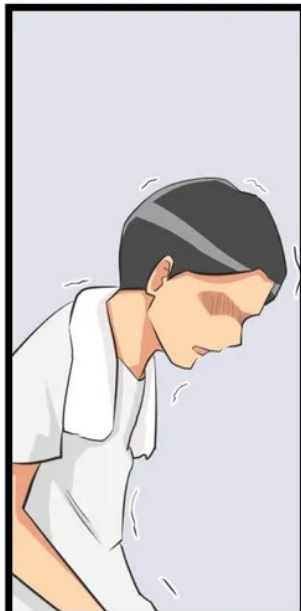


賢人君…  
すごく安心する



なあー賢人よー  
ハメ撮り動画見せて  
くれよ!

バカ!今日は  
そんなもんねえよ!



もしかして…  
アタシの居場所は…  
ホントは…



まあ要するに俺が  
こないだ言ったた  
「隙」ってやつよ!



どうゆう事?

おう!



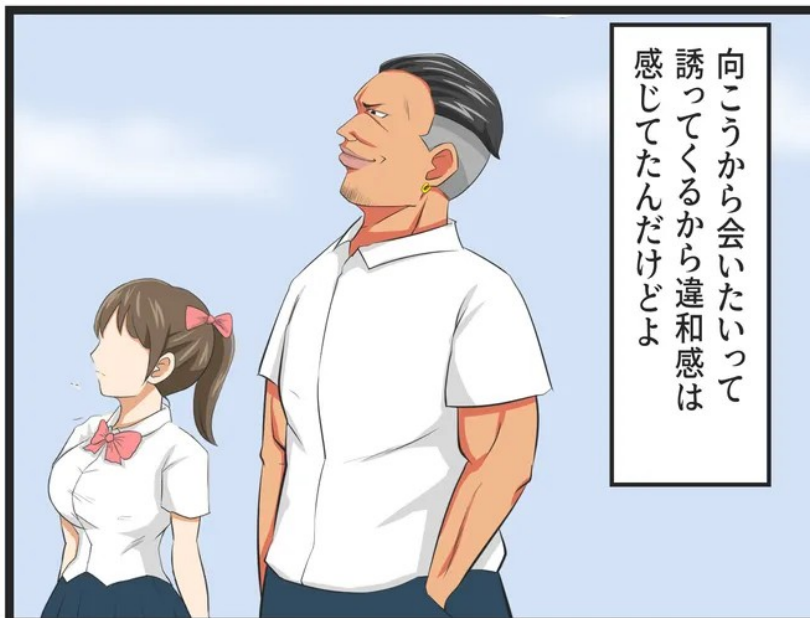
ああ何があったか  
知らねえが何かあった  
みたいだわ



しっかし先月に  
五分五分だって言ってたのに  
もうエッチまでもってくとはな



出会って速攻  
今日はギリギリまで距離を  
詰めれるって確信したぜ!



向こうから会いたいわって  
誘ってくるから違和感は  
感じてたんだけどよ



真理華...



そうこうしてる間に  
すっかり夜も更けて...



そんでカフェで  
お茶して適当にその辺り  
ブラブラデートして

いつもなら目線を外す  
真理華がそれをしなかった

うん

んっ？

愛してるよ！

いけるー



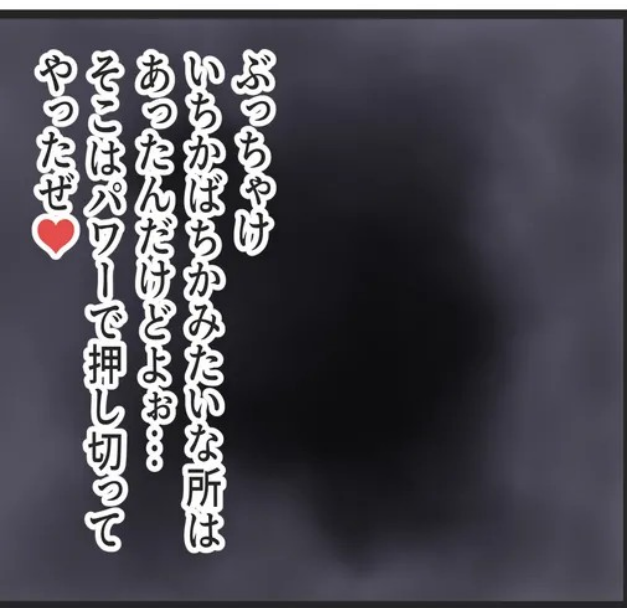
そうすると真理華は  
全く抵抗する気配もなく  
俺を受け入れた



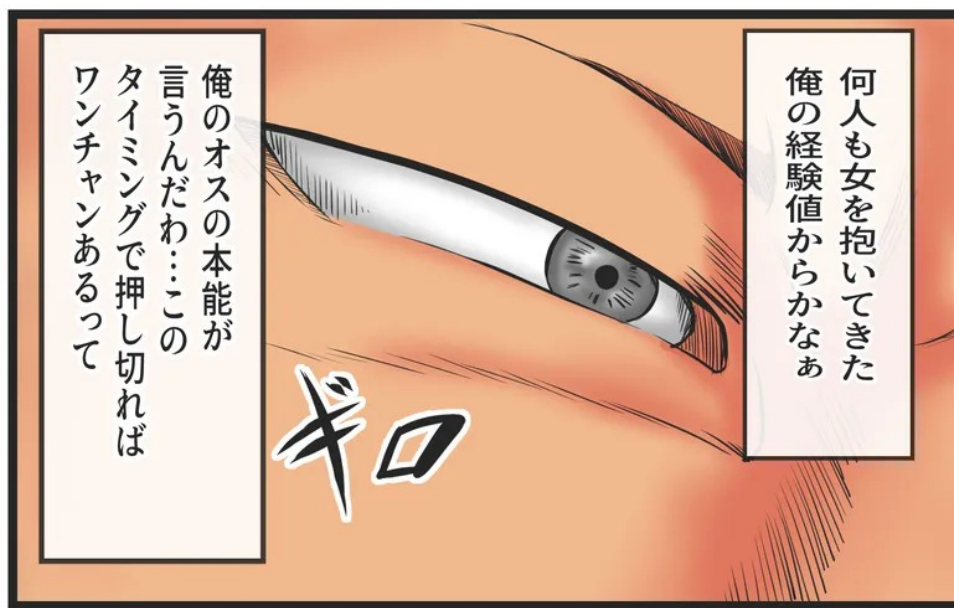
そう確信した俺は  
すかさず唇を奪った



と……ここでガチで止めておく  
はずだったんだ……でもな……



ぶっちゃけ  
いちかばちかみたいなのは  
あったんだけどよお……  
そこはパワーで押し切って  
やったぜ♥



俺のオスの本能が  
言うんだわ……この  
タイミングで押し切れば  
ワンチャンあるって

何人も女を抱いてきた  
俺の経験値からかなあ



もうマジで  
我慢出来ねえよ真理華

誰にも邪魔されない  
俺達が二人きりに  
なれる場所に行こうぜ♥



うん

真理華好きだ!!  
マジで好きだよ♥



アタシお子ちゃま  
なんかじゃないもん…

でも真理華も  
高校2年になるんだから  
そろそろ男の一人でもぞー！  
う…うん  
お父さんだの母さんだの  
アタシは  
あなたなの

え…あつ…  
それは…さすがに

あんなの近くに  
運じてあなたを  
守ってくれるイイ男は  
いないのか？  
彼氏にするなら  
絶対そうゆう男だぞ？！

行くぜ!!  
真理華♥  
えっ!!  
あつ…あの

真理華は  
お子ちゃ 真理華だからな!  
どうもお前!!  
俺は真理華を  
守りたいから男だぞ!!  
アタシは  
あなたなの

あつ…あの…  
賢人君…  
んっ!?

よし!  
墮とした♥

ズ

ズ

このままついていけば  
あたし大人になれるのかなあ



女の子が一生に一度だけ  
捧げる大事なものだからね…  
絶対にアタシの事大事にしてくれるって  
約束出来る…？

ポロ

ポロ



まだやってもねえのに  
泣くとはちよっとメンヘラ  
入ってるなあ



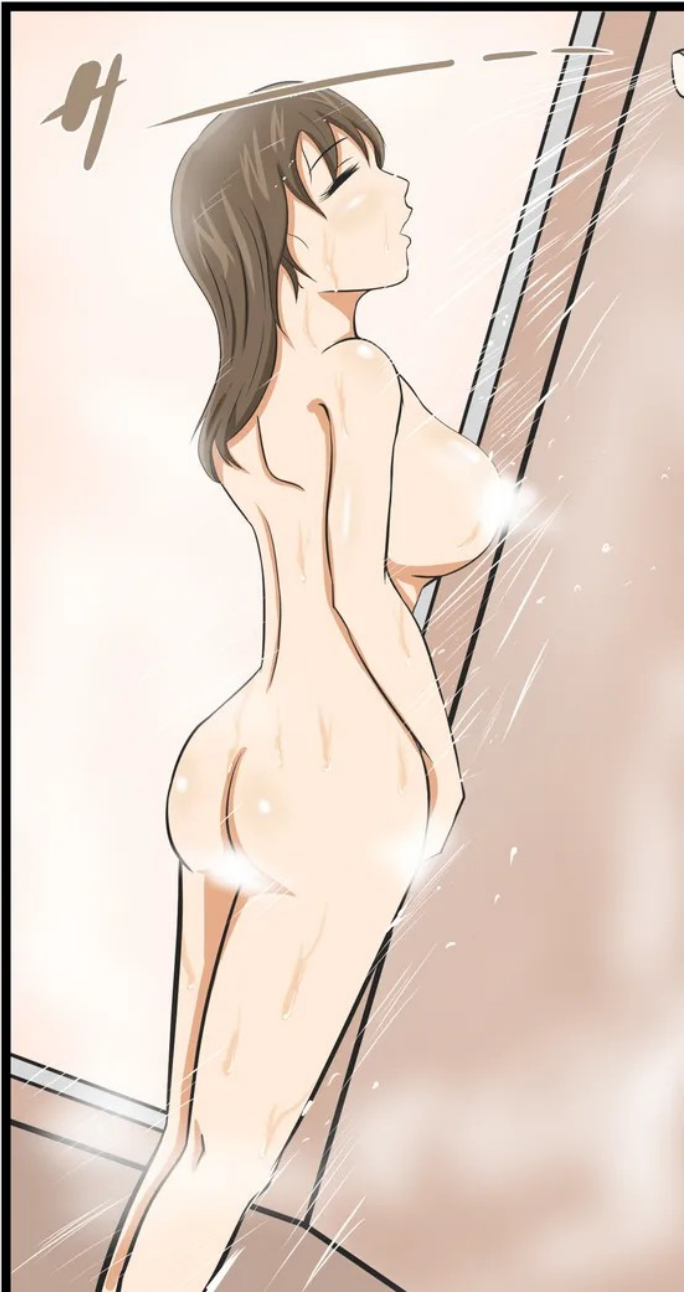
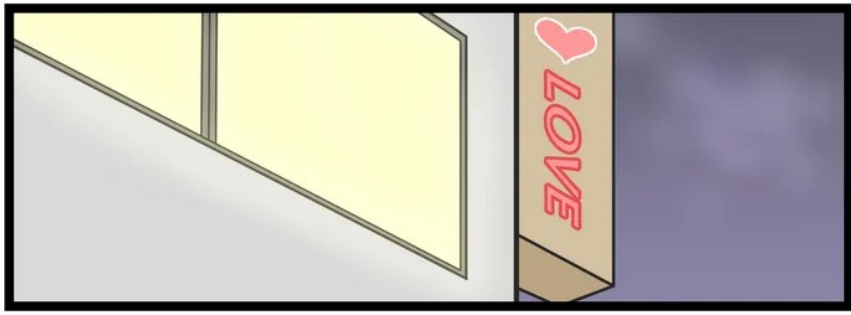
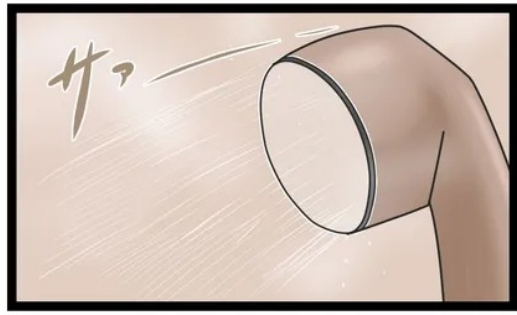
グネ



コクッ



ああ当然だろ!! 一生大事に  
するよ!! 優しくするから  
俺に任せて♥





あの…賢人君  
シャワーいつてきたよ…



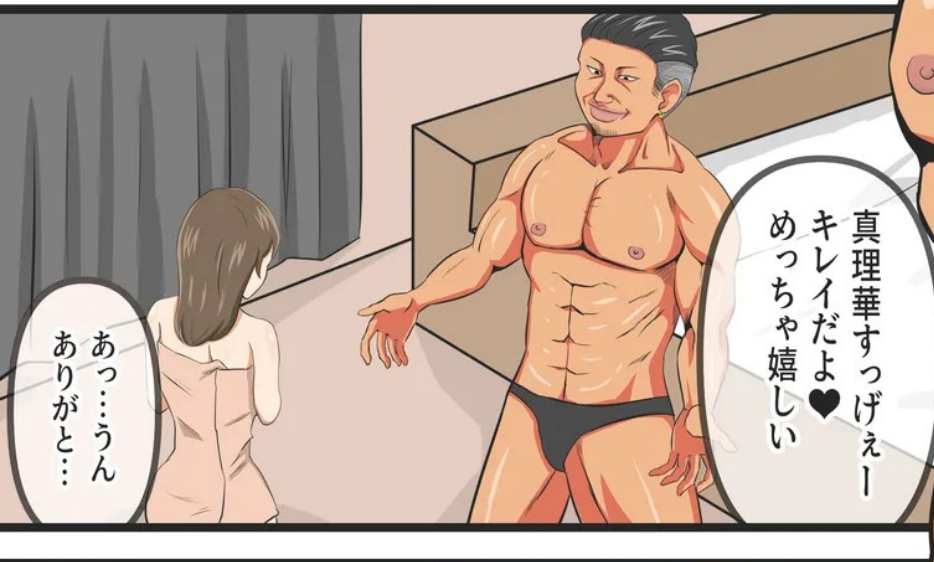
ガチャ



やっ…もう  
脱いでる…



おお真理華  
♡



真理華すっげえー  
キレイだよ♡  
めっちゃ嬉しい

あっ…うん  
ありがと…



す…すごい  
筋肉…

ムキッ



あの…やっぱりアタシ  
まだこうゆうのは…

あっ!!



バカヤローここまで来て  
逃がすわけねえだろ

真理華  
愛してるぜ♥



肌と肌が触れ合って  
温かい…

ポーン



いやなわけじゃないけど…  
やっぱり怖い…でも…  
いつもみたいに服越しじゃない  
賢人君の胸の中

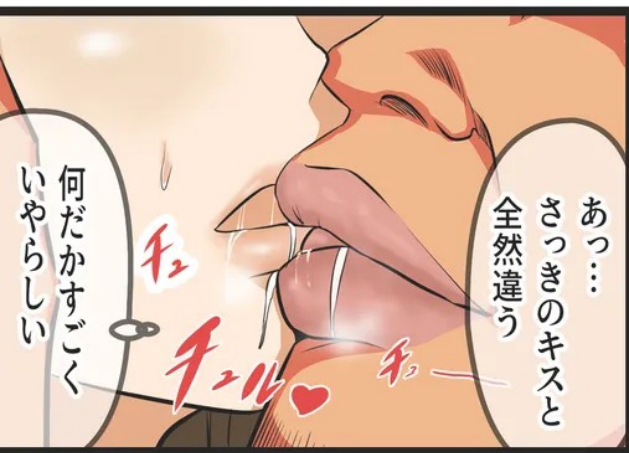


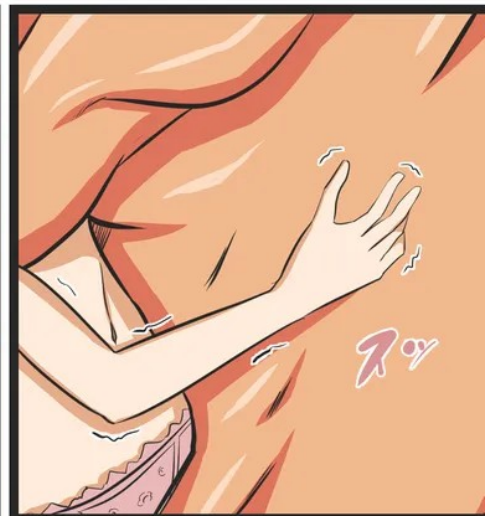
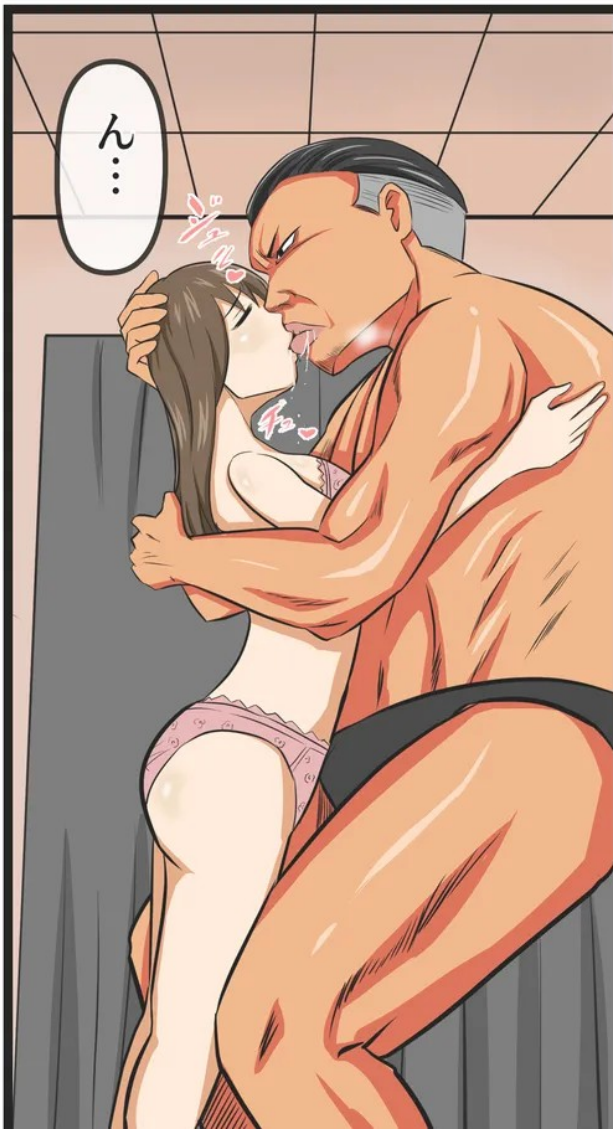
あっ!!  
やっタオル!?

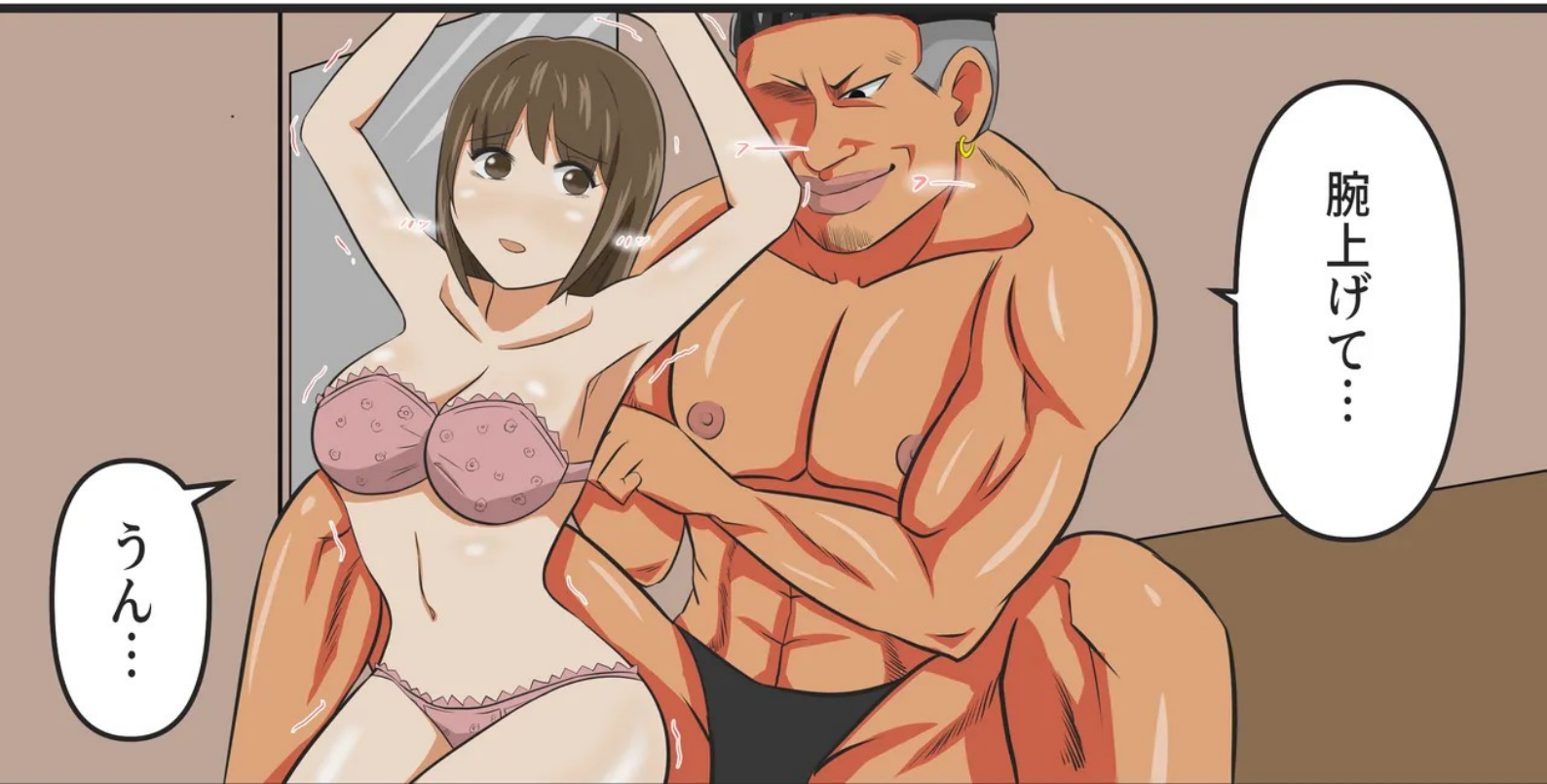
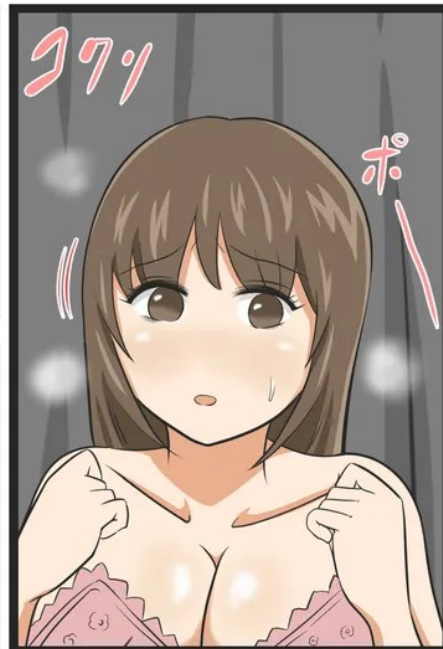
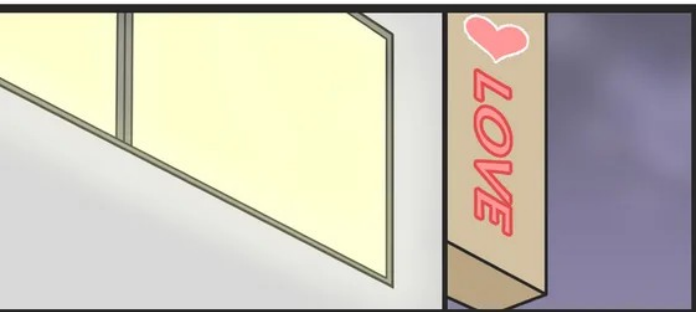
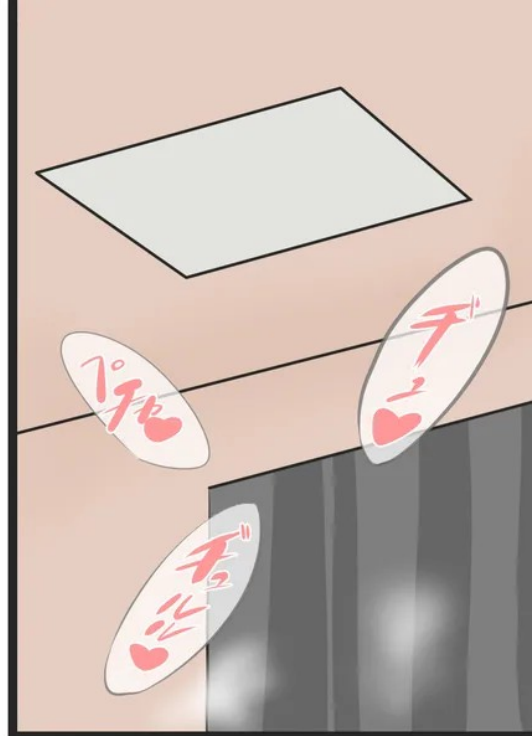


お前は今日俺に  
処女を喰われるんだよ♥

グイ

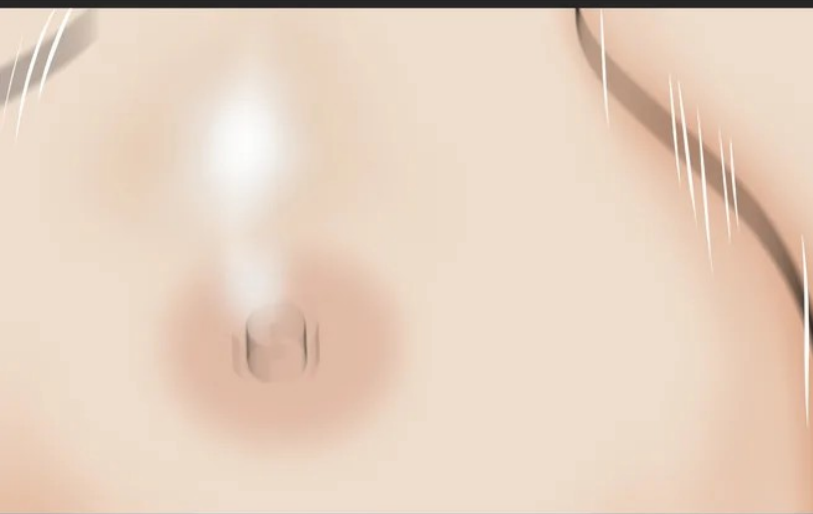
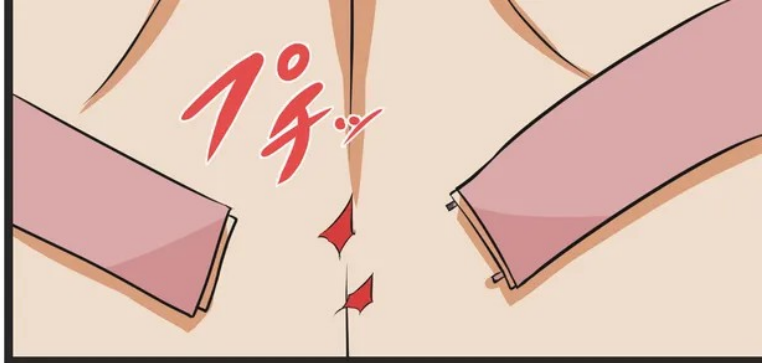






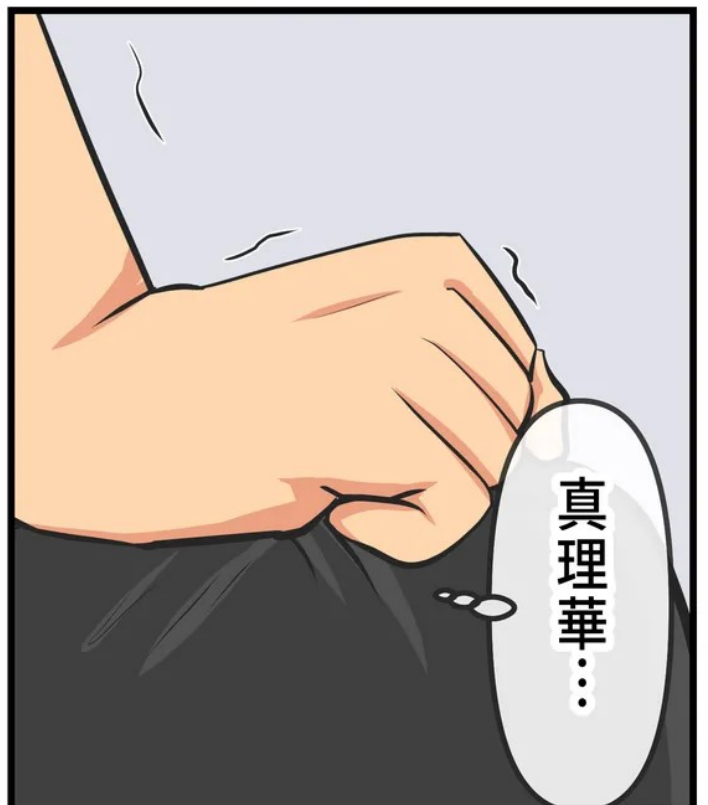
うん...

腕上げて...



すげえーキレイだよ♥  
真理華♥

アタシのおっぱい…  
見られちゃった…



小学校



中学校と…



同じ時を過ごして  
きた真理華



ずっと一緒に  
育ってきた  
そんな真理華が…





ピクン♡

ふやあじ...



カッ♡  
キョロ♡

あん♡



ギョッ♡

あっ...  
んっ...くすぐりたい



ハッ♡

うんま♡



やっ何!!  
あたし変な声  
でちゃったよ!?



なんだか...  
すごくいけない事  
してる気がする...



マシユマロみてーな  
柔らかさとほどよい弾力

ずんっ♡

このずしっと  
くる重量感♡



ホシツトにそんな  
カワイイ顔してこっち  
見んかって…余計に興奮するだろお

もみ♡

そして極めつけは  
この陥没気味の  
乳首♡



プルン♡



たっぷりと  
俺好みの女に開発してやるからな  
覚悟しろよ♡

あっ♡

くっ♡

必殺  
乳輪攻め♡

ビクッ♡



くすぐったさが快感に感じ始めるまでじっくりと…

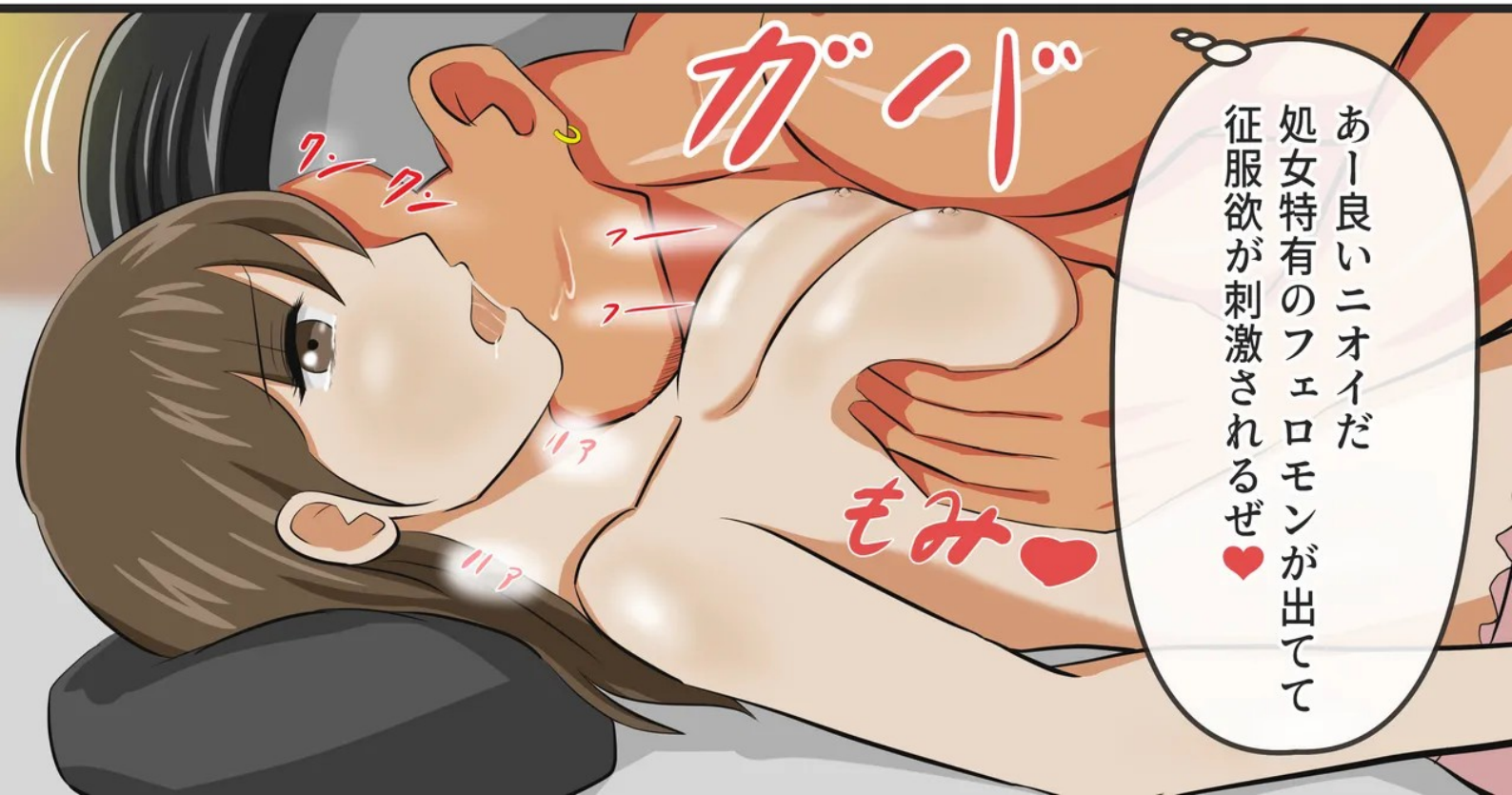
あえて乳首やマンコは避けてゆっくりと焦らすように触っていく

ふわ

ピラッ



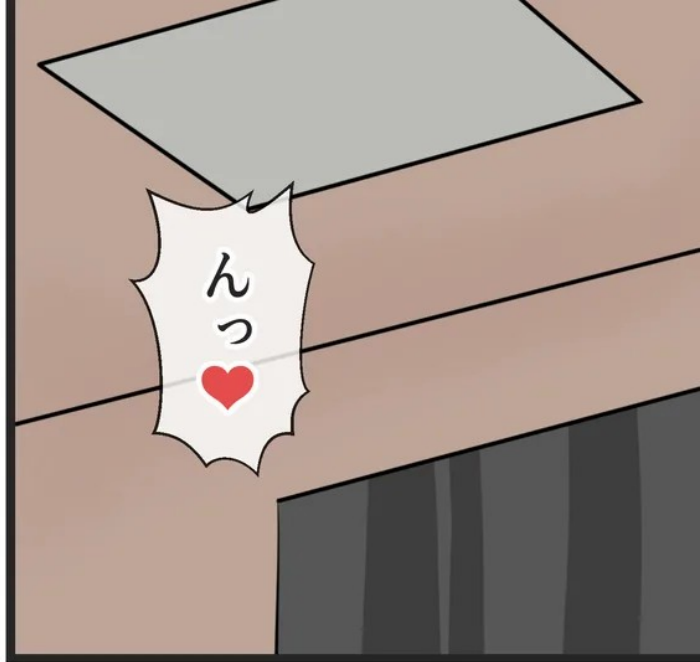
おマンコぐっちよぐちよにしてから一気に処女膜破ってやるからな…



ガバ

あー良いニオイだ  
処女特有のフェロモンが出てて  
征服欲が刺激されるぜ♥

もみ♥



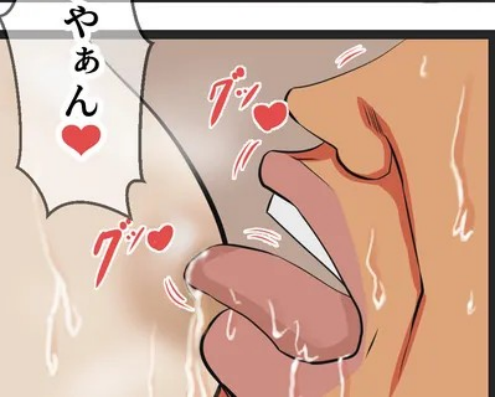
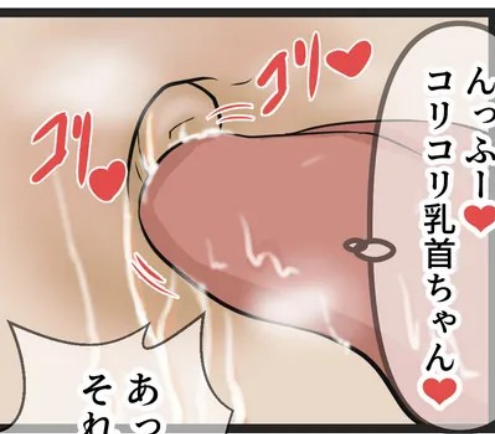
真理華この部屋には  
俺とお前二人きりなんだから  
もっと声出してもいいんだよ

静かな部屋にあたしと  
賢人君の吐息だけが  
聞こえてくる…何だか  
別の世界にいるみたい…

よしだいぶ  
触られたり舐められたり  
する事に慣れてきたな…



そんなの…  
恥ずかしいよ…



真理華ちよっと  
起き上がってみて

うん

マジで  
いい乳してんなあ

あつ：  
えっ？

んっふー  
コリコリ乳首ちゃん

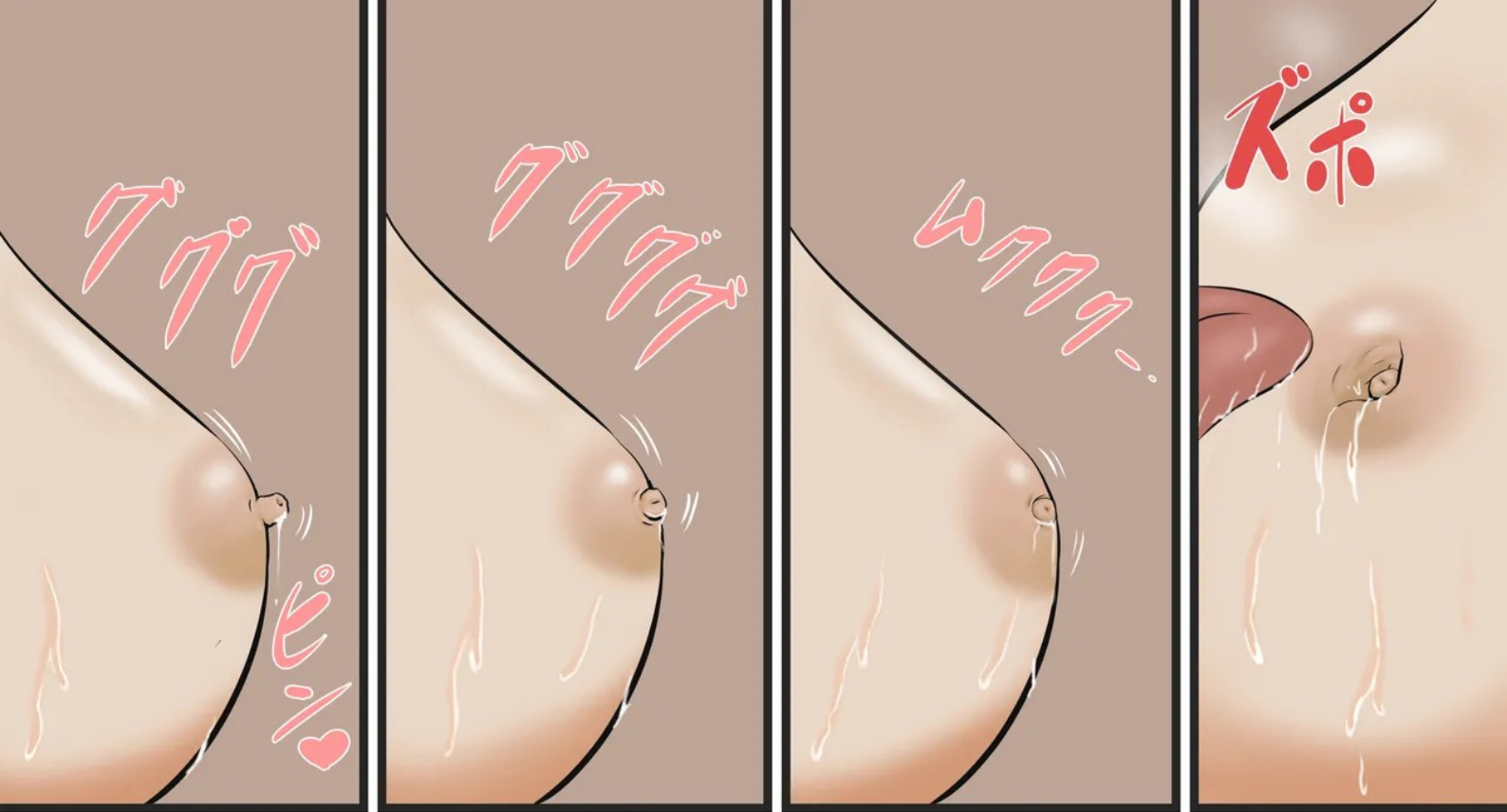
ひゃんっ

舌ぶっ刺して  
やるぜ

真理華の  
美乳いただきまーす

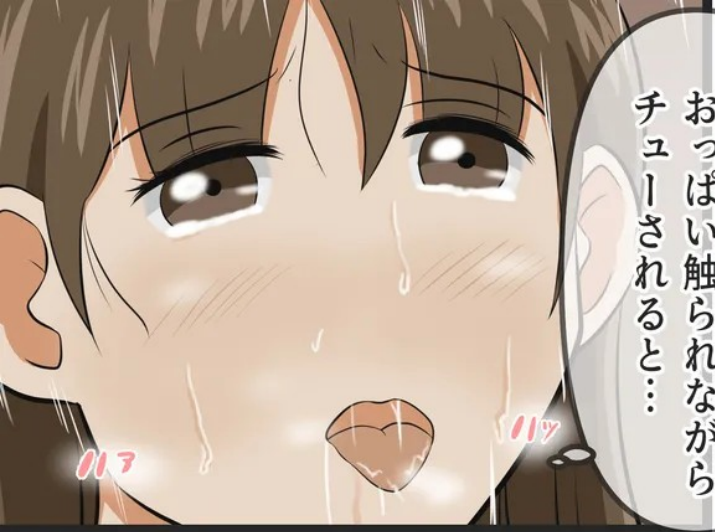
あつっ  
それ…やんっ

いやあん



あたしのおっぱい…  
ママのおっぱいみたい

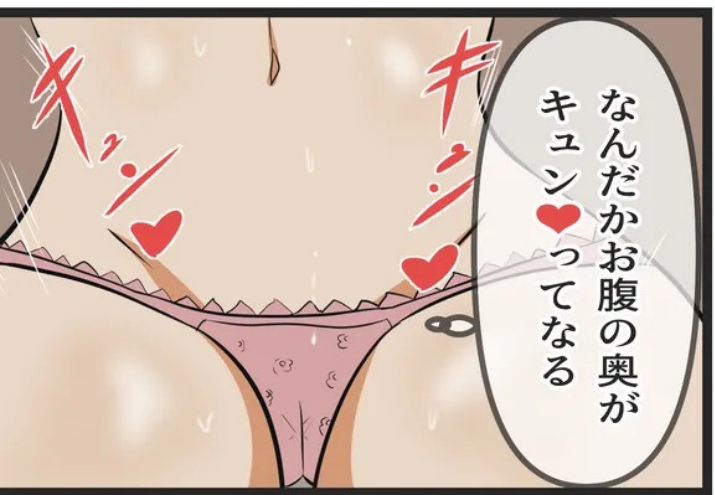
あたしのおっぱい  
いつもと全然違う…  
やだあやらしい…



ダメダメ!!  
おっぱい触られながら  
チューされると…



ふんんっ♡



なんだかお腹の奥が  
キュン♡ってなる



あたしすごく変だよ…  
身体が…あそこがジンジンして  
キュッってなるの

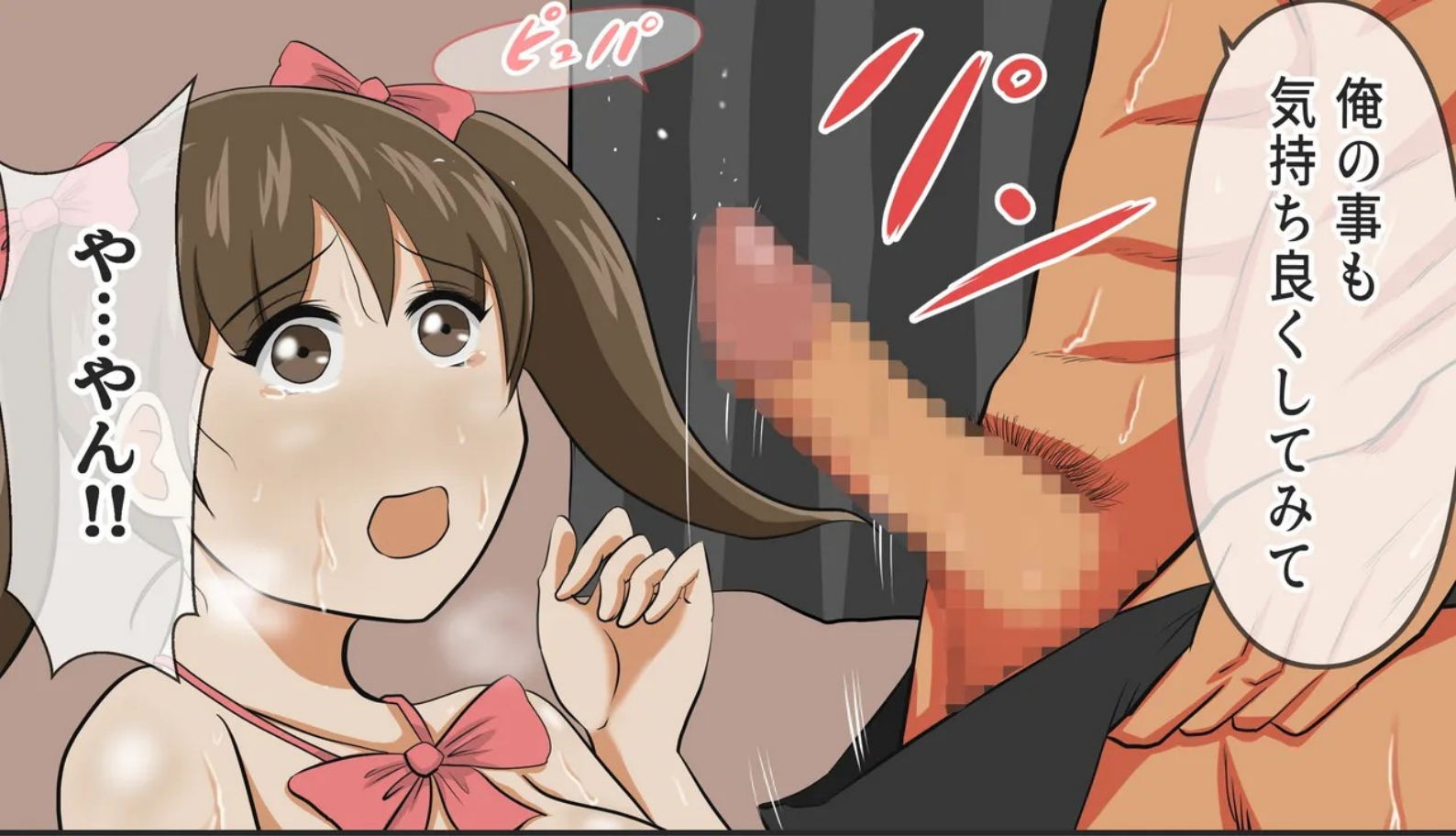
すごく切なくて怖いの  
あたし…おかしくなっちゃったの？



賢人君…

んっ？





俺の事も  
気持ち良くしてみて

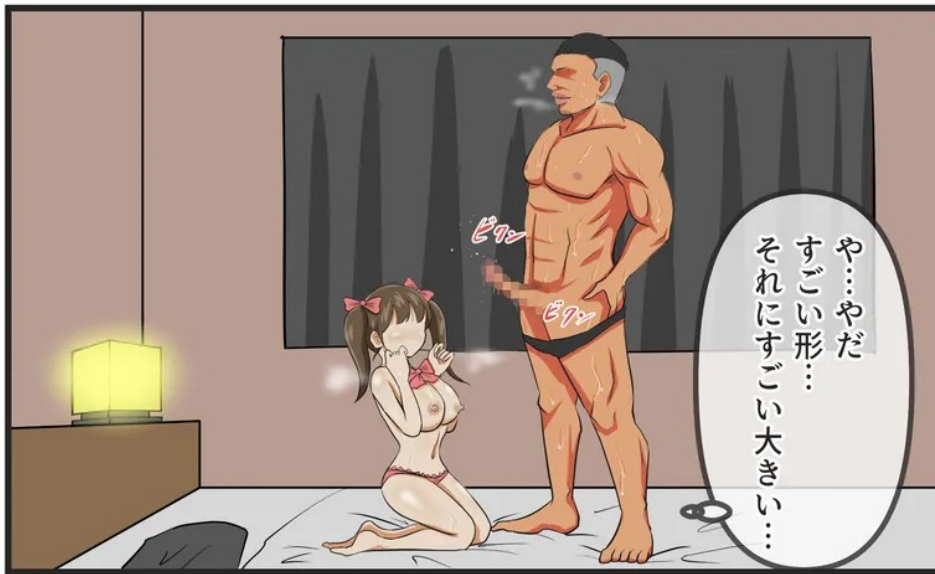
や…やん!!

ビッパ

ビッパ



子供の頃に  
お風呂場で見た



や…やだ  
すごい形…  
それにすごい大きい…



え…そうなの…

とろ



真理華舐めてみて

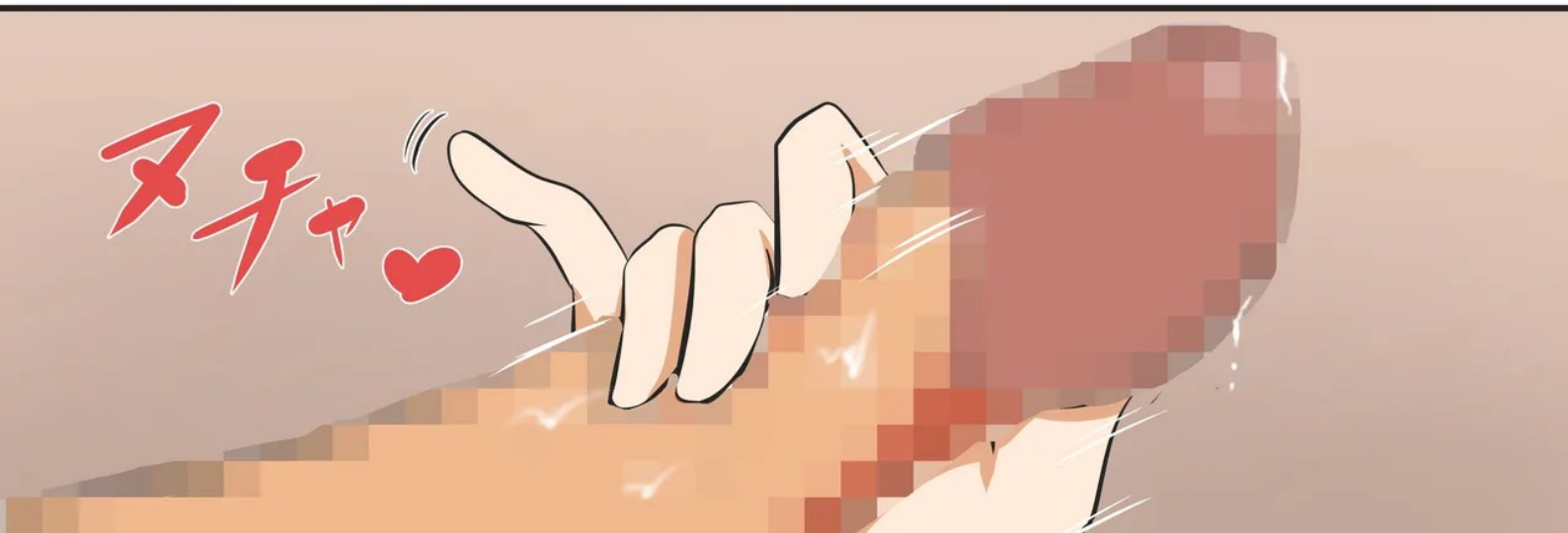
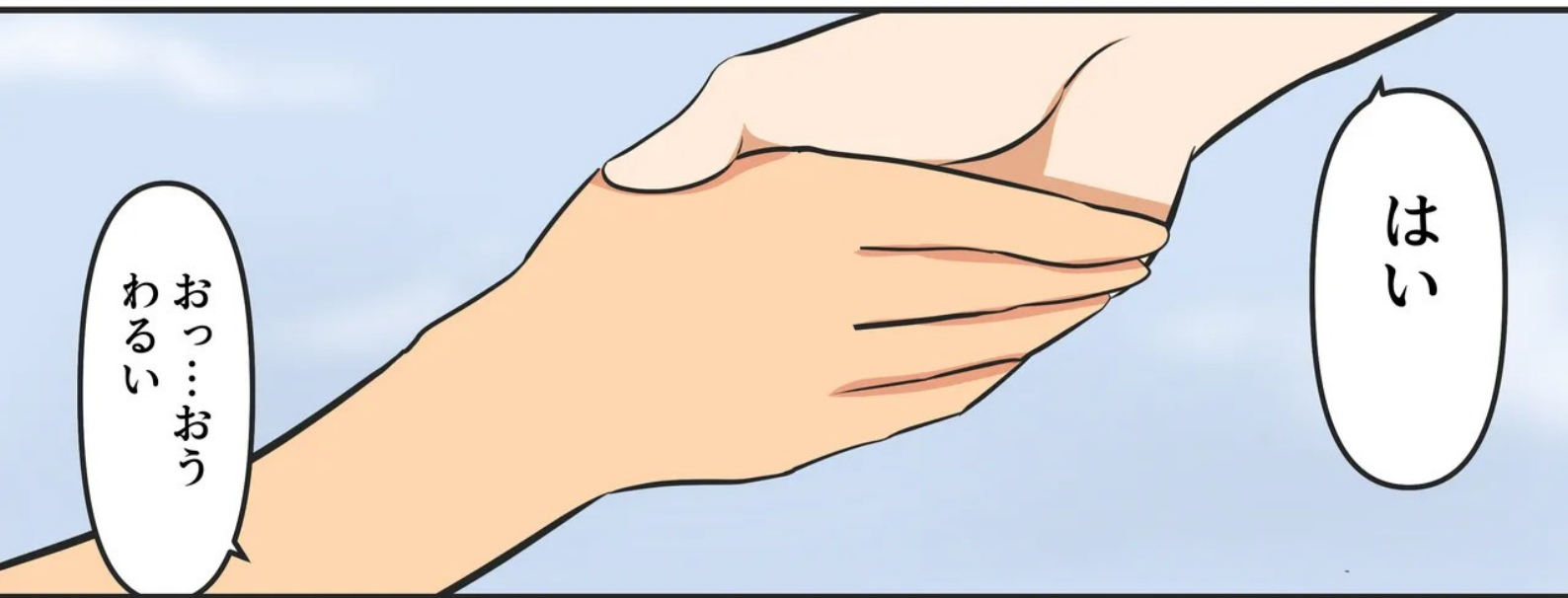
え…それは…

そんなに  
怖がらなくても  
エッチする時は  
みんなやってる事だよ♥

ビッパ



パパの  
チンチンとは  
全然違う…





おっふう♡  
ぎこちない舌使いだが  
逆にそれが良いなあ

上目使い  
エツロ♡

真理華…



っ…これで  
いいの？

やつ…  
すごくかたい…

さきつちよから  
透明な汁が出る…  
しょっぱいよお…



もっと  
啜えこんでみて

ふおへへ  
ひひほ？



じゃあ真理華  
次はこのおっぱいで  
挟んでみてくれる？

えっ？それも  
みんなやってるの？

おっぱいの  
大きい娘にしか  
出来ないんだよ

もみ♡

プルン♡



ふおっ♡  
知識がないわりには  
様になってんじゃねえか

真理華の  
ひよつとこ顔  
たまんねえ♡



こ…こうすれば  
いいの？

ぬっ  
ちゅ♡

ぬっ  
ちゅ♡

やっ…チンチンが  
ピクピクしてるよ…

おっ♡すっげえ  
すごく気持ちいいよ  
真理華♡



む  
ハ  
ゅ♡



こんな  
感じであってる？

スチゅ♡

そうそう  
そしたら挟んだまま  
おっぱいを上下に擦ってみて♡  
スチゅ♡



ほほ

ほー  
ポッ



つば垂らして  
ぬるぬるにしてくれるかな

何かアタシ…  
今すごい事してる…

えっ？  
あっ…うん



えっ? 何だか  
チンチンがビクビク  
って...



あふっ♥  
あつ...ちよつ♥  
待て待てやばいやばい♥  
あつ♥



ふやあ!!

あつ 射精るわ



ごめんごめん  
つい気持ち良すぎて  
出ちゃったよ♡  
俺の精子♡

スッキ♡  
顔にも乳にもたっぷり  
ぶっかけてやったぜ♡  
テンション上がる♡



やああ…す…す…すごい  
ニオイ…何これ？  
これって何？

もろ♡  
あ♡  
ドロ♡

ドロ

ドロ



せ…せいし…？

そう  
赤ちゃんのもと  
赤ちゃんのものと♡  
ティッシュで  
拭いてあげるね



じゃあ今度は  
また俺が真理華の事  
気持ち良くする番ね

う…うん  
優しくしてね…

分かってるよ  
俺に任せて♡

あっ♡

あっん♡

んんあっ♡

んっ♡ ああああっ♡  
あっ♡ いやあああん♡

あっ♡ ダメ♡ それ：  
アタシのパンツ♡ 舐めちゃ  
やああああああん♡

あっっ♡ んっ♡

あっ♡ 何これ：  
頭が真っ白になってく  
もう：エッチな声：  
我慢出来な：あっ♡  
出来ない：んっ♡

うんめえ♡  
真理華のマン汁が  
よ〜く染みててたまらん♡

頭の先っぽが痺れてくるぜ！  
記念にこの  
処女時代の最後に履いた  
パンツ持って帰らせてえ♡

あっ！ やん！！

あああああっ♡

いやああああ  
だめええ♡

ママと一緒に買った  
お気に入りのパンツ  
賢人君の睡でぐちよぐちよに  
されちゃってる…

それじゃ  
マンコちゃんも  
見せてもらおうぜ♡





じゃあいよいよ挿れるね♥

えっ… う…うん…



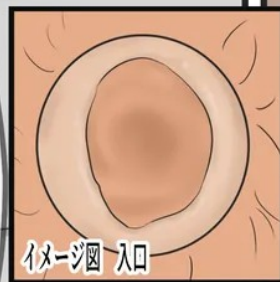
真理華すっげえキレイだよ

いやあしかしやっとなんこに辿り着いたぜ

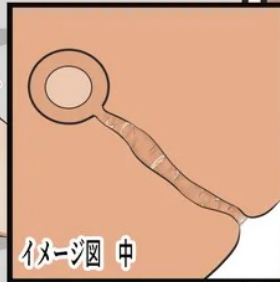


やだやだ…怖い やっぱり怖いよ賢人君

痛い？痛いのか？



イメージ図 入口



イメージ図 中

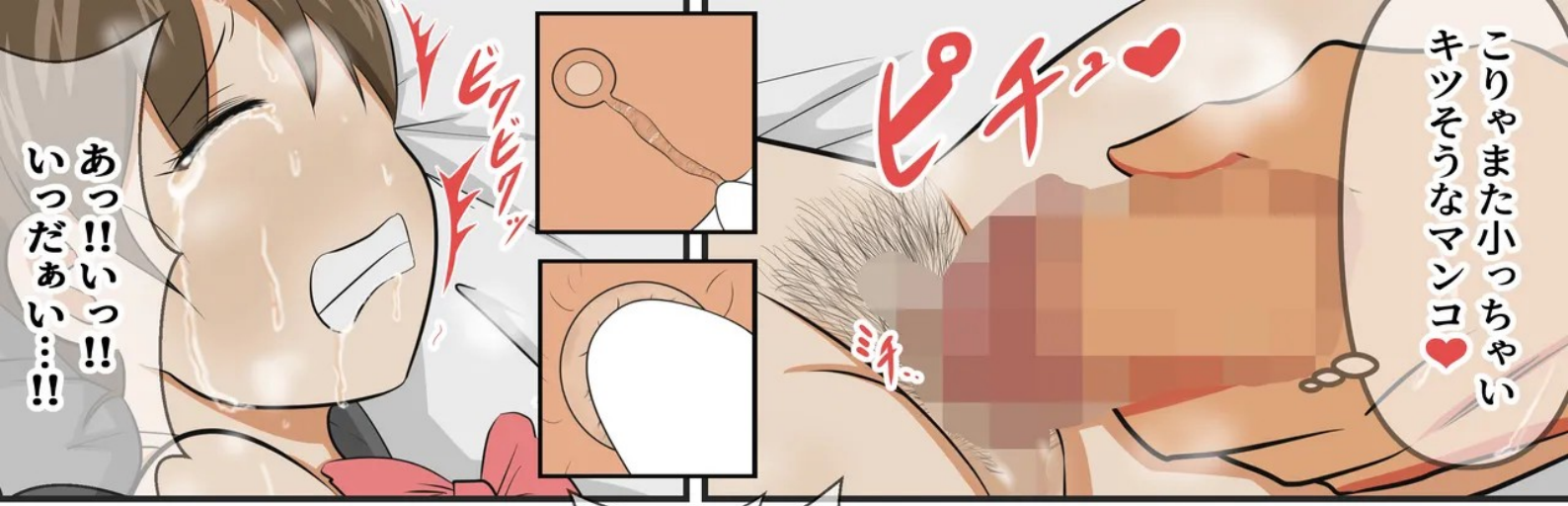


初めて会った時にすぐ処女だっけって確信したぜ あの日以来絶対に俺のチンポで処女膜破るって決めてたんだ

俺のチンポで処女膜破ってもらえる事を 光栄に思えよ真理華♥

大丈夫だよ真理華♥ 最初はちよっと痛いかも だけど…俺に任せて

んっ♥



こりやまた小っちゃい  
キツそうなマンコ♡

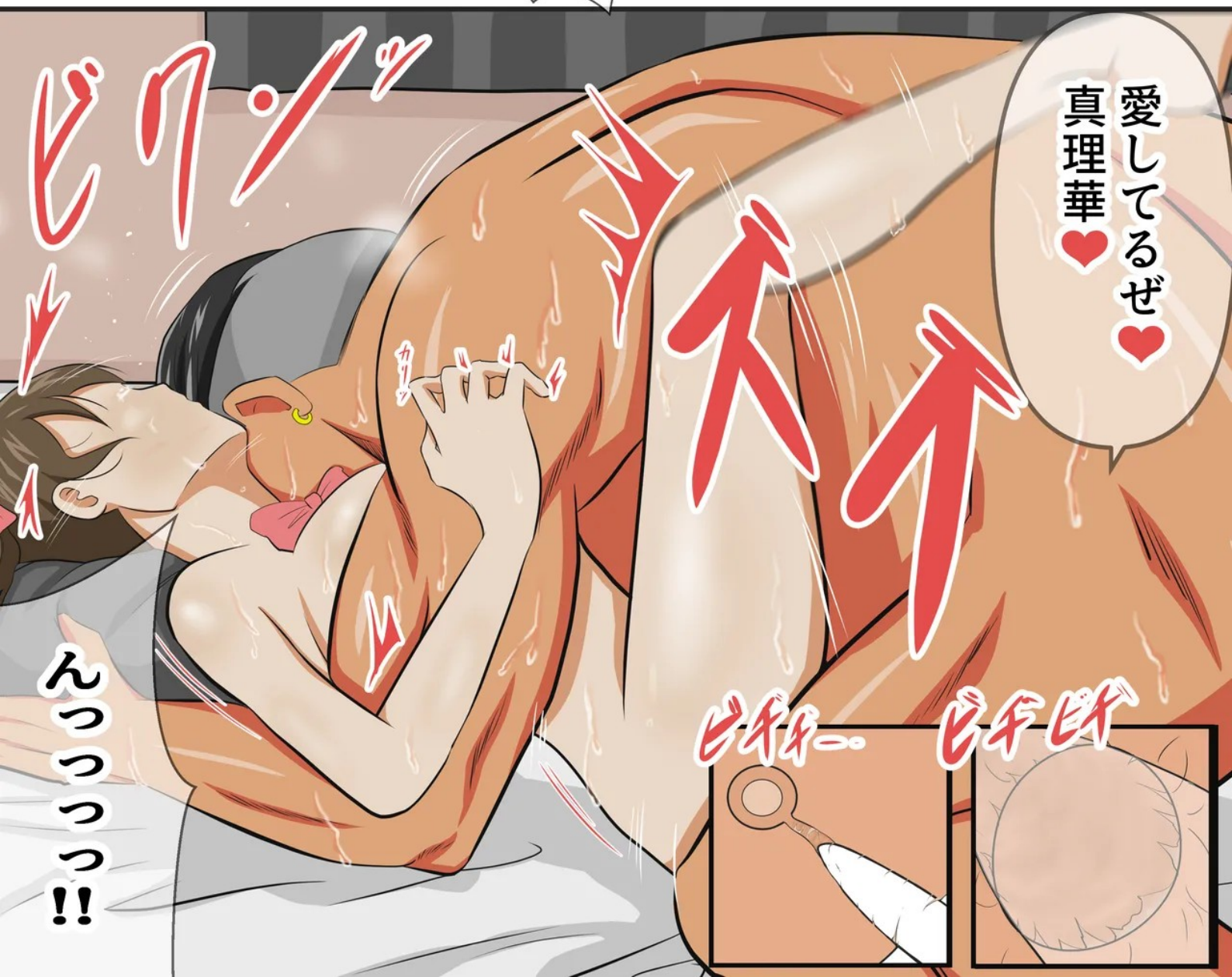
あっ!! いったい!!  
いったあい!!



おっふう♡  
はつきりと膜に  
当たってるな...

アッ!!  
うっ!! あっ!!  
痛い!! 痛いよ!!  
ダメダメ怖い!!

やっぱりやめよ!!  
また今度に...



愛してるぜ♡  
真理華♡

んっっっ!!

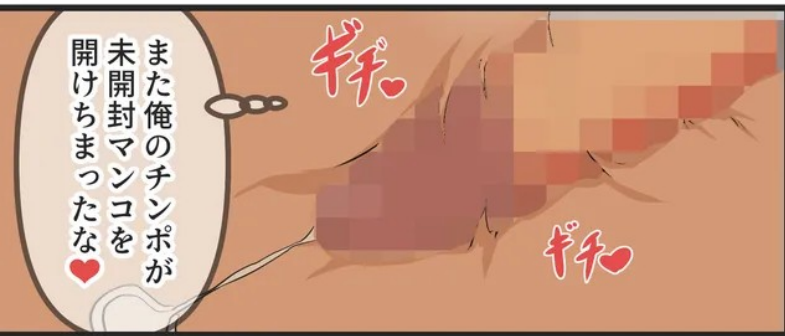


ふやあああ  
いだいいい...いだいよお...

ぬ...ぬいて  
ぬいてええ...

ガッ

ガッ



また俺のチンポが  
未開封マンコを  
開けちまったな

ギチ

ギチ



何はともあれ  
これでやっとお前も  
一人前の女だな  
おめでとさん

うっぐ!!  
ひっぐ...

じゅああ  
ゆっくり  
動かすね



ああああああん  
いたいいやだよお  
こんなのいやああ

おとおおお潤ってた分  
ぬるっと入ったな  
でも身体が小さいからか  
マンコもきつついなあ

おマンコする  
最後の最後までよく泣く  
女だったぜ！

まあたぶん気になる男でも  
いたんだろうが：  
結果的に真理華の処女マンコに  
最初にチンポをぶっ込んだ男は  
俺だって事だ！

あっ♡あっ♡はっ…  
あっ…いっ…いっ…  
あっ…いっ…いっ…  
あっ…いっ…いっ…

たっぷり気持ち良くして  
完全に墮としてやる！

とにかく  
圧倒的ロリ巨乳ゲットだぜ

ゆっさ♡

ゆっさ♡

ゆっさ♡

グッキン♡

グッキン♡

♡





制服越しからでも分かる  
パンパッパンに張ったこの巨乳…



二か月前…

あん♥

あん♥

パン♥

あんあん言いながらデカ乳揺らして  
まあ女なんて一旦抱いちゃえば  
みんな一緒だな♥



はっ♥あっ♥あん♥

あん♥あん♥

一目見た時から  
ずっとこうしたくて  
しよーがなかったぜ♥

んっ♥あっ♥

実際この素っ裸を  
想像しながらこそそと  
何回シコツたことか…



そして  
きゅっ引き締まった  
プリケツ♥



真理華  
俺に全部委ねて

はっ♡んっ♡あっ…♡  
あっ♡♡♡

気になる男ってのが  
どんな奴か知らねえが

真理華のマンコは  
先着順なんだよバーカ

ああああああん



ふんっ♡んっ♡

このロリ巨乳はもう  
俺のもんだ…



えっ…？  
気持ち良く…？

真理華♡心も身体も  
俺に委ねてみて  
そしたら気持ち良  
くなるから♡



ダメ♡これダメ…うっ…深い♡  
やだ怖い…こわれちゃうよお♡



はっ♡はっ♡あっ♡

あたしの…お腹の奥が  
擦れて…  
入れられる度に…

ゆっさ♡

初めての感覚…

んっ♡んっ♡

頭がジンジンってなる  
こんなの初めて♡

グツ♡

グツ♡



あん♡あっ♡

痛いけど…痛いけど…  
なんだろうこれ…変な感じがする

ゆっさ♡

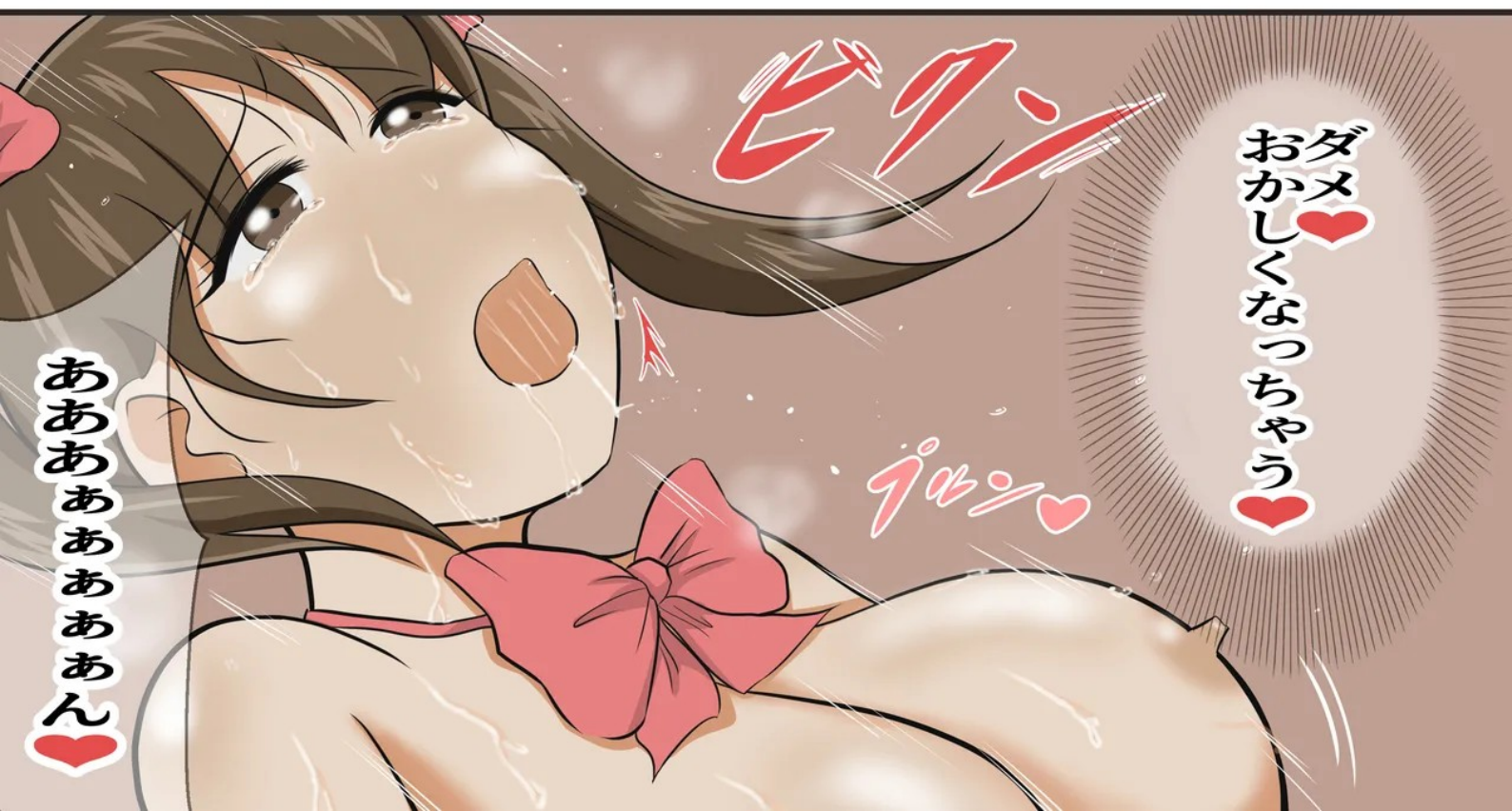
はっ♡あっ♡

あたしの奥に…賢人君の  
硬くて太いチンチンが…  
出たり入ったりして…

ゆっさ♡

グツ♡

グツ♡



ピクン♡

ダメ♡  
おかしくなっちゃう♡

グッ♡

ああああああん♡

あっあっ  
あぁあぁん

んっ  
んあぁあっ

LOVE

あんなに声出して  
お盛んだねえ

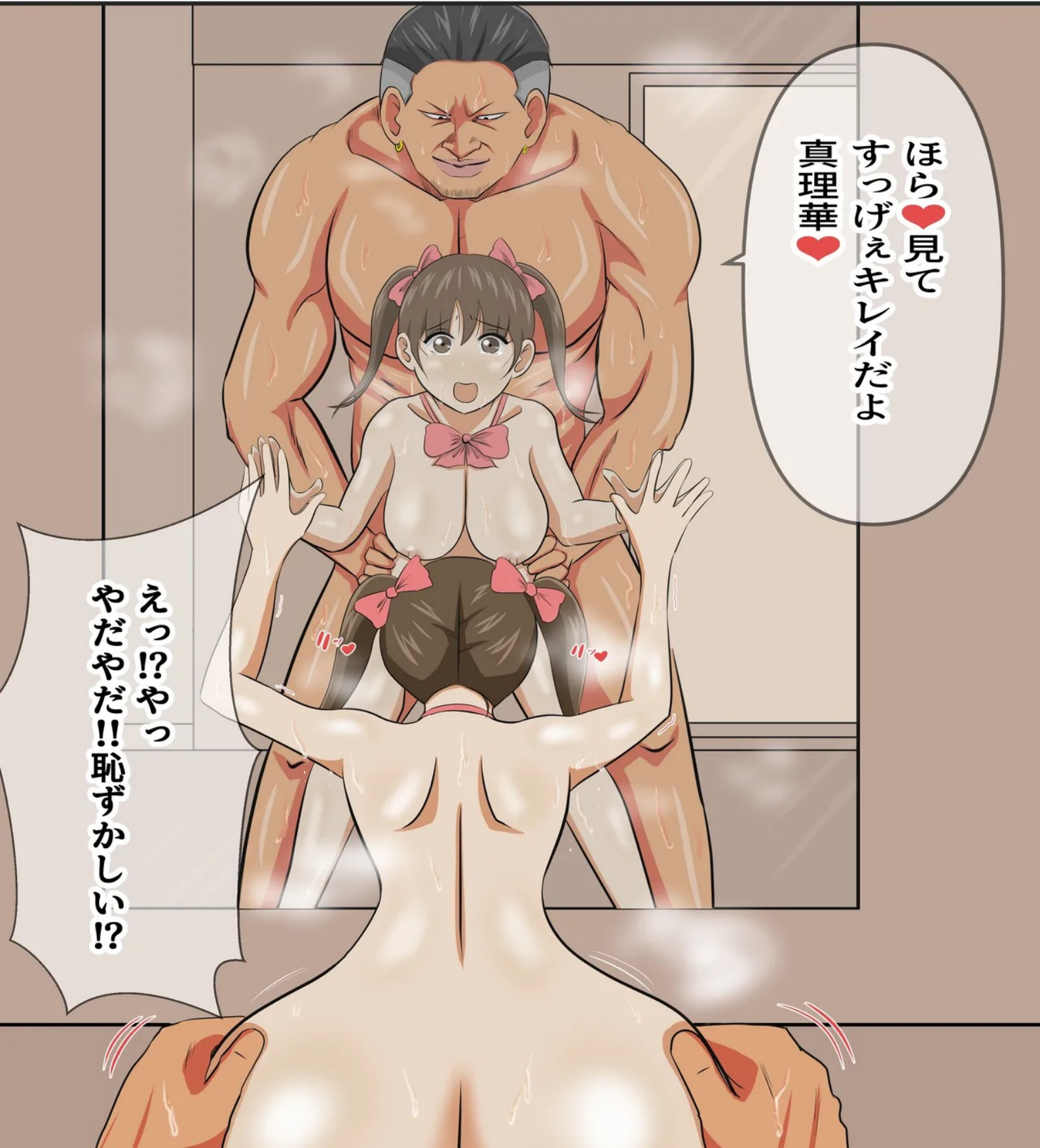
まったく  
近頃の若いのは…

真理華  
じゃあ次はこっちに来て

はあ…はあ…  
えっ…うん…

ほら♡見て  
すっげえキレイだよ  
真理華♡

えっ!? やっ  
やだやだ!! 恥ずかしい!?





何にも恥ずかしがる事なんてないよ…



やだやだ!!  
やだよお賢人君  
こんなの恥ずかしいよお!!



やん♥あたし…あんな…裸で  
トロンとした目して…



最高にキレイだぜ♥  
真理華



あんないやらしく…  
おっぱい揺らして…  
男の人と…エッチしてる…

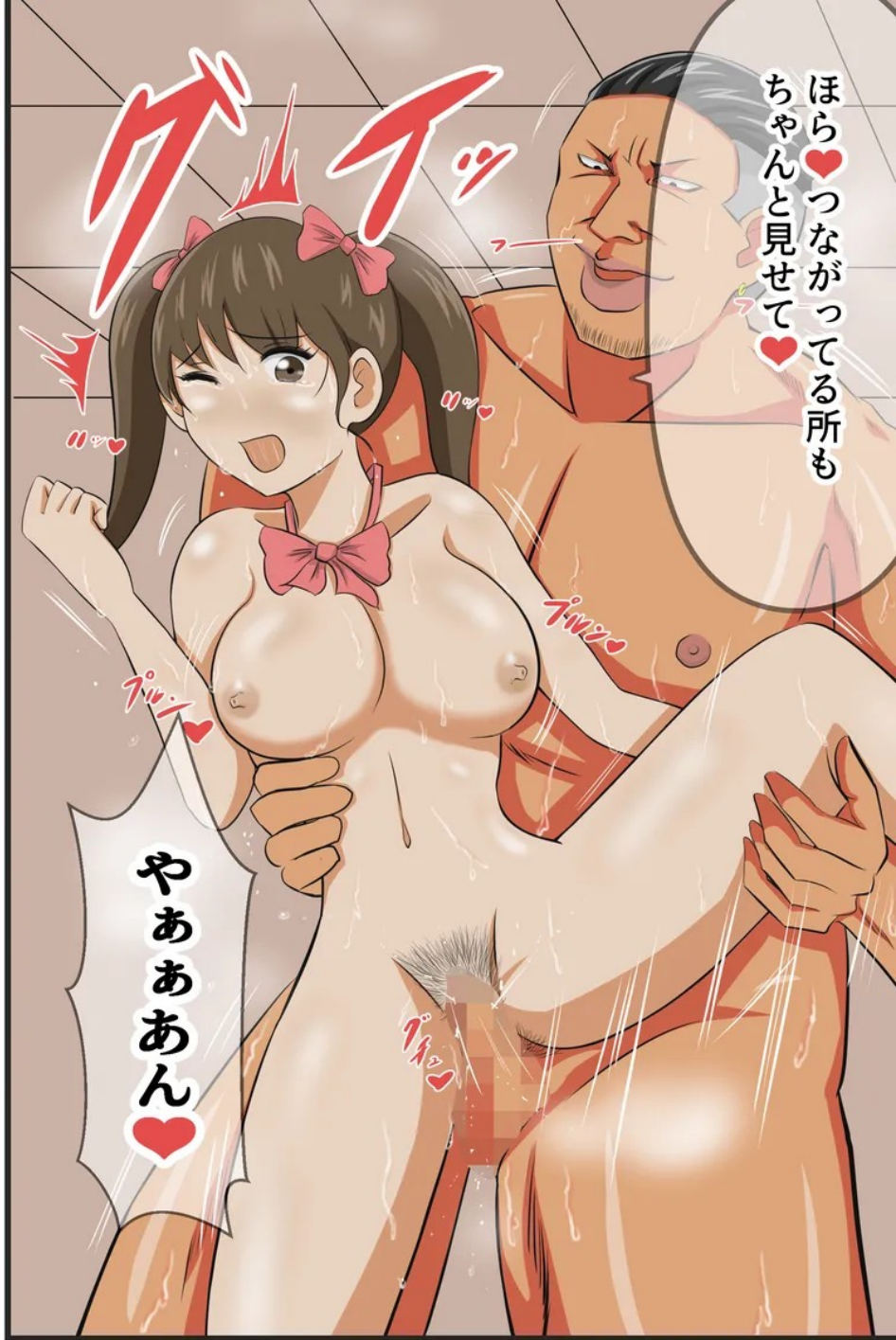


ふやああんっ♥

まったく何言ってるやがる  
これがお前の本来の  
姿なんだよ♥



やっ…すごい  
あたしのおマンコに…  
賢人君の太いチンチンが  
出たり入ったり…



ほら♥つながってる所も  
ちゃんと見せて♥

やあああん♥



あっ♥んんっあっっ  
あたし…すごく  
いけない事し…あっ♥

ふやっ♥



よし!!  
そろそろいくぞ  
真理華♥

えっ!?!  
やっ♥あっ♥

グッ♥



あっ♥あっ♥  
あああああっあっあん♥

あっ♥やっ♥



あっあっあん♡あん♡あっん♡

あんっんん♡  
あっ...ふっ♡ふっからっら...♡



んんっ...あっっ♡

ダメツ♡ダメダメダメ  
もう...おかしくなっ...!?





はあ...あっ...  
はあん...んっ...

まあメスの  
マンコに辿り着ける男ってのは  
頭が良くなきゃダメって事よ...

とゆう  
具合だったのよ...

おい!  
中出ししたら  
ハメ撮りしてくれよ!

ふいっ  
まっ中出しは次に  
取っとくか...



大胆さ…



粘り強さと…



優しさと…



マメさと…



スペックの高いオスの  
精子を…

そうゆう能力を  
しっかりと持った



ちゃんと  
メスは選ぶように  
出来てるだよ♡





いやあーホント  
これからが楽しみだわ  
♥



わああああああああ!!

つづく



ㄱㄱ

ㄱㄱ